名前	実父 実母	続柄	順	姓名	字・幼名・号他	役職・家業	給禄	藩主	享年	生年月日 没年月日		屋敷・居住地 備考	墓地	出典
大黒屋			○	大黒屋 幸助		町人		8				徳山町 博奕お咎めも銀十枚献納免・献納並び賞美一件(天保5年)		[註4]
般若山 大成寺 臨済宗妙心寺派 ＊位牌あり			○	玄芳和尚	(曹洞宗龍文寺末寺潮音山南湘院)	曹洞宗南湘院住職		輝元				元亀3年(1572)輝元公覚書有り		
			○	前聖福謹叔和尚＊	大成開山前聖福謹叔和尚頊禅師 (臨済宗京都東福寺末寺大成院)	臨済宗大成院住職		1		1631	寛永8年11月21日	寛永2年(1625)就隆公富田南湘院に御牌所建立		
			○	石窓和尚＊	妙心第一座石窓立座元禅師 (臨済宗妙心寺派聚福山大成寺)	臨済宗大成寺住職		1		1675	延宝3年9月29日	寛文10年(1670)大成院徳山へ引き取り再建立号大成寺	徳山・大成寺墓地(H30)	
			①	竺印大和尚＊	創建開山竺印門和尚大禅師 (京都妙心寺塔頭竜華院開山)	徳山藩毛利家菩提寺	105.86 妙心寺223世	1	68	1610 1677	延宝5年9月30日	徳山舞車(長門生まれ) 延宝2年初代藩主就隆招く/＊中興開山再住妙心竺印	＊大成寺墓地	[註9][註11] ＊[徳山市の社寺文化財]
	越前松平忠直逸白公	嫡子	②	万休和尚＊	首座亨　万休(祖)亨 妙心第一座萬休亨和尚禅師	徳山藩毛利家菩提寺		1～3		1692	元禄5年6月27日	徳山舞車 本藩時鐘銘記(貞享4)/毛利秀就正室喜佐姫(松平忠直妹)現	徳山・大成寺墓地(H30)	[註8][註14] [都濃郡誌全P7]
	熊田		—	無著和尚＊	嗣法3世無著道忠　葆雨堂　照冰堂 中興開山無著忠和尚大禅師	徳山藩毛利家菩提寺		1～3	92	1653 1744	承応2年7月25日 延享元年12月23日	徳山舞車(但州人) 竺印の弟子/1723年龍華院に隠居/学聖と呼ばれる		
			—	銀龍和尚	初め欽龍(毛利家文書)	徳山藩毛利家菩提寺		3				元禄6年(1693)9月大阪出船徳山へ		
			③	剣水和尚＊	寛首座 妙心第一座前住剣水利和尚禅師	徳山藩毛利家菩提寺		3		1720	享保5年5月8日	徳山舞車 宝永2年隠居後追放、宝永3年改号曹洞宗般若山洞春寺	聯芳塔あり	
	白井某女		—	大磯和尚	源六 嫩明	防州法安寺讃州見性寺住す 大成寺隠居後浄福寺住す		3～5	80	1666 1745	年齢から逆算 延享2年8月13日	福間隆簾引取養育後出家/龍文寺九巌寺和尚弟子	浄福寺[中興大磯和尚/家譜]	[福間家家譜]
			④	北運和尚	(宝永2年1705後住首座済) 妙心第一座大成層興北運済和尚禅師	徳山藩毛利家菩提寺		3～5		1745	延享2年10月8日	徳山舞車(金沢人) 一時妙心寺派大成寺消滅/澄泉寺、城州福田寺を末寺に	徳山・大成寺墓地聯芳塔	
			⑤	雪渓和尚＊	妙心第一座雪渓梅和尚禅師	徳山藩毛利家菩提寺		5		1753	宝暦3年12月14日	徳山舞車(奥州人)	徳山・大成寺墓地聯芳塔	
			⑥	環渓和尚＊	妙心第一座環渓席和尚禅師	徳山藩毛利家菩提寺		5～7		1798	寛政10年7月20日	徳山舞車 般若山大成寺和尚より奈古屋家へ書簡(県文書館)	徳山・大成寺墓地聯芳塔	[寛政時代観龍和尚あり 徳山名士墳墓掃苔録]
			⑦	独雄和尚＊	独雄自存[三時回向]自在[註9・11] 妙心第一座前住独雄在和尚禅師	徳山藩毛利家菩提寺		7		1817	文化14年4月24日	徳山舞車 遺稿『虚室詩草』二巻/京都花園保福院にて寂	聯芳塔あり	[註9][註11] [三時回向/19世著]
			—	庸山和尚		徳山藩毛利家菩提寺		7~8				寛政8年(1796)同12年(1800)入院		
			⑧	栄道和尚＊	妙心第一座栄道悦和尚禅師	徳山藩毛利家菩提寺		8		1818	文政元年11月26日	徳山舞車 享和3年(1803)入院	聯芳塔あり	
			⑨	大方和尚＊	妙心第一座大方廣和尚禅師	徳山藩毛利家菩提寺		8		1820	文政3年10月19日	徳山舞車 文化14年(1817)轉位上京	聯芳塔あり	
			—	瞬州和尚		徳山藩毛利家菩提寺	100切50 寺領筆頭(天保3年)	8				徳山舞車 天保7年(1836)轉位上京、天保10年(1839)先住と記述あり		
			⑩	関龍和尚＊	妙心第一座関龍傳和尚禅師	徳山藩毛利家菩提寺		9		1847	弘化4年12月10日	徳山舞車 島田蕃根に禅を教示[註11]	聯芳塔あり	
			⑪	興巖和尚＊	妙心第一座興巌和尚禅師	徳山藩毛利家菩提寺		9		1863	文久3年正月28日	徳山舞車	聯芳塔あり	
			—	石荘和尚	石荘恵璉(宇和島大隆寺晦巌弟子) 後選仏寺住持	徳山藩毛利家菩提寺		9				徳山舞車 長州周旋藩主元蕃の書面持参正使とし宇和島三机会談へ		[註1]
	唐津藩士塩田壽兵惟和 同牧山某二女多喜子	嫡子	⑫	南天棒和尚	中原鄧州 白崖窟 塩田孝次郎 慶助 全忠	大成寺住職(M2-M17) 山岡鉄舟、乃木希典、児玉源太郎等に影響		9	87	1839 1925	天保10年4月3日 大正14年2月12日	唐津生まれ/M2元蕃招く 庫裏、禅道場開設/中原姓毛利元蕃公命名/澄泉寺	西宮・海清寺供養碑	『南天棒行脚録』『南天棒禅話』著
			⑬	永保和尚＊	前住妙心永保義範和尚大禅師	大成寺住職/画家[註1]		10		1900	明治33年2月5日	徳山舞車	聯芳塔あり	[註1][註8]
	渡邉		⑭	玉田大和尚＊	渡邊至温和尚 前住妙心玉田温大和尚禅師	大成寺住職 大成寺末寺澄泉寺住職		11				徳山舞車(明治34年～) 澄泉寺の再興を矢嶋作郎に依頼(明治37年再建・二等地)	聯芳塔あり	『清韻集』出版に尽力
			⑮	不明		大成寺住職		11				徳山舞車	聯芳塔あり	
			⑯	悦道和尚＊	妙心前住悦道樹和尚大禅師	大成寺住職		11		1922	大正11年2月27日	徳山舞車	聯芳塔あり	
	島原		⑰	泰邦大和尚＊	泰邦聖老大和尚	大成寺住職		11	88	1903 1990	年令から逆算 平成2年2月24日	徳山舞車 1926年頃まで務めるがその後無住	岡山県総社市天福寺	
	堀江		⑱	達禅和尚＊	堀江達禅興岳 妙心前住中興達禅興和尚大禅師	潮音山大成寺住職		12	80	1886 1965	年令から逆算 昭和40年12月18日	徳山舞車/昭和3年入寺 ＊歌人/達禅長男至道、二男弘道、三男正道、四男則道、長女芳子	徳山・大成寺墓地(H30)	＊[翰墨一架 有吉鼠弟著]
	堀江達禅 堀江文代	長男	⑲	至道和尚＊	堀江至道 妙心前住至道誠和尚大禅師	般若山大成寺住職		13	90	1916 2005	大正5年8月27日 平成17年10月2日	徳山舞車 徳山市立岐陽中学校教諭/至道長男一道、長女国光千津子	徳山・大成寺墓地(H30)	
	堀江至道 堀江政枝	長男	⑳	一道和尚	堀江一道 一道活和尚	般若山大成寺住職 周南保護司会長/同仏教団長		14		1949	昭和24年4月18日	徳山舞車 徳山高校20期/一道長男祐道禅師、長女舞		
高井家断			断絶	高井 可勤		陣僧	11	3						[註4]
高井家断			断絶	高井 彦三郎			25	1						[註4]
高井家			○	高井 某	法印實巌大和尚	泉所寺29世		—	37	1932	昭和7年2月17日		高井家之墓/福田寺(R5)	[墓碑]

高木家	高木吉次郎	嗣子	○	高木 丈助	断絶			—				先祖近江犬上郡高木村 代々毛利家召仕/正保年中夭死断絶弟八郎流浪		[譜]
	徳山村高木丈助弟八郎	嗣子	○	高木 六左衛門		農業		—				徳山村		[譜]
	高木六左衛門	嗣子	○	高木 六兵衛	＊覚誉理利信士 背面南無阿弥陀仏	農業		—		1733	＊享保18年7月22日	徳山村	徳山・無量寺(R1)	[譜] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	高木六兵衛 某女	長男	①	高木 正敬	可朴 可卜[註4]	陣僧	11	3~5		1744	延享元年12月25日	宝永年中出仕/宝暦2年隠居		[譜][註4]
	高木与兵衛清明 某女	＊二男	②	高木 清房	閑斎 平七	陣僧	11	5		1752	宝暦2年2月27日	延享2年家督		[譜]
	徳山村林左衛門 某女	＊二男	③	高木 正信	可朴 百合蔵 丈七	徒士	20	5~8	79	1820	文政3年5月22日	宝暦2年家督		[譜][註4]
	高木正信 上村六右衛門女	長男	④	高木 正之	祐賀 新蔵 一雲	徒士	20	8~9	83	1860	万延元年9月29日	文政3年家督		[譜]
	柳平内孝利 月山才助正順妹	＊三男	⑤	高木 閑斎	光永 光信 熊蔵 祐左衛門	徒士	20	8~9		1852	嘉永5年8月8日	文政8年12月10日養子/4代生存中死亡		[譜]
	高木閑斎 内海伊左衛門忠道女	長男	⑥	高木 正衛 ☆	雄左衛門 宗三 祐斎 (妻桜井賢蔵定重女)	一代徒士後一代下士上等	20→5.7(M5)	9		(明治4年44歳 分限帳)		明治3年譜録提出		[譜][註4]
高木家			○	高木 朴介	朴雄軒	徳山藩士		9		1878	明治11年10月14日		徳山・無量寺(R1)	[註10]
	兼崎直輔	二男	○	高木 尚右	→兼崎尚右	東京帝国大学卒 陸軍少将	正四位勲三等	—	79	1880 1958	明治13年10月17日 昭和33年5月16日	東京		[註10]
	高木尚右 東京水島正道長女ツネ	長男	○	高木 尚一		東京帝国大学卒		—		1912	明治45年5月	東京		[註10]
高木家	高木六兵衛 某女	二男	①	高木 清明	與兵衛 和田平	蔵本付	15	5	89	1776	安永5年5月4日	先祖近江犬上郡高木村 寛保2年出仕		[譜]
	高木与兵衛清明 某女		—	高木 清直	茂八 友七	御雇蔵本筆者		5				延享2年嫡子願後死去		
	高木与兵衛清明 某女	二男	—	高木 清房	→②高木清房	陣僧	11	5		1752	宝暦2年2月27日	高木正敬延享2年養子家督		[譜]
	小畑村佐古小兵衛 四熊村井上権左衛門女	*二男	②	高木 信門	清兵衛 六右衛門	徒士	20	5~8	83	1812	文化9年9月13日	実子死亡に付宝暦2年養子/文化4年隠居		[譜]
	高木六右衛門信門 黒神主鈴直達女	長男	—	高木 敬	→渡邉 敬	祐筆	20二扶持	8				文化2年渡邉朗養子家督/天保9年3月於江戸欠落同7月断絶		[譜][註4]
	杉原武左衛門政常 難波庄兵衛勝正	＊五男	③	高木 信一	寛平 文平 源内	徒士	20	7~8	53	1831	天保2年正月14日	寛政元年養子/文化4年家督		[譜][註4]
	高木信一 二代目信門女	長男	—	高木 信光	勝之進			8		1825	文政8年6月7日			[譜]
	高木信一 二代目信門女	二男	—	高木 信定	良助			8				天保6年8月15日永暇		[譜]
	高木信一 二代目信門女	三男	—	高木 権平		西方寺弟子		8				天保3年10月23日大向村西方寺弟子		[譜]
	津田秩香 高木信門女	＊三男	④	高木 信敏	代助 昴三	盗賊方/家中早廻(天保2年) 徒士	20	8~9				西下丁東側自北4番 天保2年家督		[譜][註4]
	山縣國太明矩 清木好吉達堅妹	＊二男	⑤	高木 信好 ☆	明憲 明知 永之丞 雅吉	下士上等	20→5.7(M5)	9		(明治4年26歳 分限帳)		万延元年養子/明治3年譜録提出		[譜][註4]
高木家			①	高木 勝之助		山崎隊	1.8(明治5年)	9		(明治5年22歳 分限帳)		徳山村夜市		[註4] [山崎隊日記]
高崎家			①	高崎 安知	五兵衛 喜助 儀左衛門 (防府右田浪人)	中小姓	35	2~5	75	1740	元文5年7月21日	下間町自北4番 奉公以前防府右田浪人/某年出仕		[譜][註4]
	高崎安知 某女	長男	②	高崎 孝理	重郎右衛門	中小姓	35	5~7	82	1775	安永4年5月21日	元文5年家督/宝暦12年隠居		[譜]
	高崎安知 某女	二男	断絶	高崎 安正	五助	徒士	20	2~5		1736	元文元年9月8日	某年御雇出仕徒士		[註4]
	荘原信貞 荘原為右衛門信行妹	＊三男	③	高崎 正常	五兵衛 平八 好槌 荘原七兵衛信好弟	中小姓	35	5~8	71	1800	寛政12年3月10日	寛保3年養子/宝暦12年家督		[譜]
	河田政勝 生野村医師赤穴三立生信女	＊四男	④	高崎 政信	五郎兵衛 平太	中小姓	35	7~8	74	1828	文政11年4月5日	安永8年養子/寛政4年家督/文政3年隠居	徳山・無量寺(R2)	[譜][註4]
	高崎五郎兵衛政信 高崎五郎兵衛正常女	長男	⑤	高崎 安章	代三郎 政章 重郎右衛門 平太	中小姓	35	8~9	69	1852	嘉永5年5月14日	中ノ丁 文化6年御雇中小姓/文政3年家督	徳山・無量寺(R2)	[譜]
	高崎五郎兵衛政信 高崎五郎兵衛正常女	二男	—	高崎 常信	→水津常信	中小姓	25	8~9		1862	文久2年12月28日	一番丁 文化7年水津常正養子		[譜]
	高崎安章 山田八郎因義妹	長男	⑥	高崎 蔵伴 ☆	静雄 信充 千代吉 蔵之進 平吾	中小姓後中士下等	35→10.2(M5)	9		(明治4年48歳 分限帳)		嘉永5年家督/明治3年譜録提出	無量寺・大成寺共同(R2)	[譜][註4]
	高崎蔵伴 岩田村国光庄之進妹	長男	⑦	高崎 亀之進		＊士族		9		1859 (明治4年13歳 分限帳)	＊安政6年6月4日	＊毛利元功出立届に名前あり	無量寺・大成寺共同(R2)	[譜] ＊[願届控東京毛利家文書]
			○	高崎 安雄				—				昭和53年8月高崎家の墓建立(徳山・無量寺)		

高崎家			○	高崎 卯吉	（弟国広要、甥国広堅太郎、姪薮田家）			—			遠石八幡宮神馬建立（後供出、縁故者国広家再建）		
高嶋家			①	高嶋 熊吉			4.36（明治5年）	9		（明治5年39歳 分限帳）	徳山村新町		
	高嶋熊吉	嫡子	○	高嶋 與吉				9		（明治5年9歳 分限帳）			
	高嶋熊吉	嫡子	—	高嶋 菊次郎				—		（明治5年3歳 分限帳）			
高嶋家			①	高嶋 佐兵衛		政務局支配	1.8（明治5年）	9		（明治5年69歳 分限帳）	徳山村新町		
	高嶋佐兵衛	嫡子	○	高嶋 近蔵				9		（明治5年24歳 分限帳）			
鷹巣家			○	鷹巣 六右衛門			150	1					[註4]
			○	鷹巣 五右衛門		飛騨守大阪蔵屋敷在所役（元禄8年）		1~3					[註4]
			○	鷹巣 譲 ☆	練治			9					[註4]
高杉家			○	高杉 某		医師		1~3			嶋田村 某女国富惣左衛門直政妻		[国富家譜録]
高杉家			○	高杉 通仙		医師		5			嶋田村 妻吉原宣陳女		[吉原家譜録]
高杉家			○	高杉 林蔵		寺小屋（習字）		9			徳山村 文久3年～明治2年7月寺小屋男20女10		[註1][註5][註14] [徳山市教育の歩み]
高杉家			○	高杉 正治郎		上村川上村他米改良組委員（明治19年）		9					[註4]
高橋家			○	高橋 武右衛門		御蔵本(寛文12年)		1			当家御制法（徳山毛利文庫）		[註4]
高橋家断			断絶	高橋 伊右衛門			20	1					[註4]
高橋家			○	高橋 治右衛門		役人		5			献納並び御賞美の項（宝暦年間記載）		[註4] [御領町人御仕成]
高橋家			①	高橋 丈右衛門		河合組下等	3.35（明治5年）	9		（明治5年35歳 分限帳）	徳山村夕顔町		
	高橋丈右衛門	嫡子	○	高橋 金一郎				—		（明治5年5歳 分限帳）			
	高橋丈右衛門	嫡子	—	高橋 直吉				—		（明治5年3歳 分限帳）			
高橋家			①	高橋 多二蔵		河合組下等		9		（明治3年21歳 人員録）			
高橋家			①	高橋 和兵衛		岩崎幾太郎組下等		9		（明治3年36歳 人員録）			
高橋家			①	高橋 治郎			1.8（明治5年）	9		（明治5年24歳 分限帳）	徳山村浦石		
高橋家			①	高橋 幾蔵			1.8（明治5年）	9		（明治5年28歳 分限帳）	栗屋村		
高橋家			①	高橋 恵左衛門		政務局支配	1.8（明治5年）	9		（明治5年56歳 分限帳）	徳山村泉原		
	高橋恵左衛門	嫡子	○	高橋 安蔵				9		（明治5年22歳 分限帳）			
高橋家			○	高橋 通景		都濃郡久米村戸長（明治12年）		9			都濃郡久米村		[註4]
高橋家			○	高橋 治助	屋号平野屋 妻玉井秀盛長文化4年嫁治助死後実家	町老格(寛延元年) 徒士(宝暦2年)天明8年迄	苗字(寛延元年) 切3(宝暦2年)	7~8		1816 文化13年9月5日	徳山本町 献納並び御賞美（元禄～天明年間記載）天明8年咎め		[註4][玉井家譜録] [御領町人御仕成]
	高橋治助	嗣子	○	高橋 吉兵衛	屋号平野屋			8			徳山本町		[註4] [御領町人御仕成]
高橋家			○	高橋 勘助				9					[註4] [有志詰問録]
高橋家			○	高橋 時蔵				9		1868 慶応4年9月朔日		徳山・福田寺（R3）	[墓碑]
			○	高橋 為蔵	靄林明壽居士			9		— 明治4□年12月16日		徳山・福田寺（R3）	[墓碑]
高橋家			○	高橋 巳之助	洞雲壽慶禅定門			9		1909 明治42年5月2日		徳山・福田寺（R3） 妻戒室慈光定尼	[墓碑]
高原家			①	高原 伊兵衛	□季	下士下等 藩知事時代正権少属	15→4.7（M5）	9		（明治4年52歳 分限帳）			[註4]
	高原伊兵衛	嫡子	○	高原 常次郎				9		（明治4年18歳 分限帳）			

	高原伊兵衛	嫡子	—	高原 猪三郎				9						
										(明治4年16歳 分限帳)				
高原家			①	高原 喜介		河合組上等 初代村会議員/助役/徳山村戸長	4.7(明治5年)	9	59	(明治5年34歳 分限帳)	徳山村順庵丁	大成寺共同墓地(H30)	[註1][註4][註14]	
					歓喜院釋高節慈光居士					1897 明治30年2月18日	夫婦の墓・安楽院釋智宣妙光大姉大正13年7月27日没			
高原家			①	高原 貞吉		駕籠(明治3年)	4.36(明治5年)	9		(明治3年24歳 人員録)	富田村平野			
										(明治5年32歳 分限帳)				
高原家			○	高原 甫閑				~3				＊徳山・興元寺		
					＊陽高原昌居士					1709 ＊宝永6年正月14日			＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]	
高原家断			断絶	高原 順賀			12	1					[註4]	
高原屋			○	高原屋 六助		町人	上下着用	8			徳山枝町	妻本正寺(R3)	[註4]	
											献納並び御賞美一件(天保5年)			
高松家			○	高松 七郎右衛門		庄屋(享保4年)		3~			粭島		[註4]	
											粭島春定一紙調上(享保4年)			
高松家			○	高松 若助		粭島漁師		9			粭島		[註1]	
											フグ延縄漁改善に努める(明治期)			
高松家			○	高松 喜兵衛		大嶋村米改良組頭取 (明治19年)		9			大嶋村		[註4]	
高松家			○	高松 孝之進		山崎隊(報知方)		9					[註4] [山崎隊日記]	
高村屋			○	高村屋 嘉右衛門		町人		9					[註4]	
											富田福川夜市三ヶ浦運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)			
滝家			○	滝 弥太郎				9					[註4] [有志詰問録]	
滝屋			○	滝屋 久左衛門		町人		8			富田新町		[註4]	
											百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)			
竹内家断			断絶	竹内 九郎助		馬役	五扶持	3					[註4]	
竹内家			①	竹内 虎雄			1.8(明治5年)	9			福川村			
										(明治5年31歳 分限帳)				
竹内家			○	竹内 貌甫		医学		8頃			戸田		[註1]	
											医師四熊家『見学堂』門人(1800年前後)			
竹尾家			①	竹尾 亦蔵		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治5年)	9			上村			
										(明治5年46歳 分限帳)				
	竹尾亦蔵	嫡子	○	竹尾 貞一				—						
										(明治5年5歳 分限帳)				
武重家			①	武重 弥左衛門		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治5年)	9			徳山村北山			
										(明治5年32歳 分限帳)				
	武重弥左衛門	嫡子	○	武重 直次郎				—						
										(明治5年5歳 分限帳)				
武重家			①	武重 一郎		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治5年)	9			徳山村北山			
										(明治5年26歳 分限帳)				
竹下家	吉村		○	竹下 玄純		医師(小児科医)		1			浪人後大阪道修町開業		[註1]	
竹下家			○	竹下 玄達		医師		7~8			徳山町		[戸倉家譜録]	
											玄達妹戸倉正為後妻享和3年12月27日			
竹下家			○	竹下 平兵衛		町人/産物吟味方用掛		8頃			富田新町		[註4][註14]	
											天保2年(1831)7月産物吟味方用掛			
竹下家			○	竹下 初郎		都濃郡第1区戸長 (明治4年)		9			湯野村		[註4]	
武居家			①	武居 武之進		下士下等	15→4.7(M5)	9					[註4]	
										(明治4年23歳 分限帳)				
武居家			①	武居 勝馬			1.8(明治5年)	9			東豊井村			
										(明治5年21歳 分限帳)				
竹中家			①	竹中 直三郎		山崎隊	1.8(明治5年)	9			福川村		[註4] [山崎隊日記]	
										(明治5年25歳 分限帳)				
竹中家			①	竹中 定右衛門				9						
										(明治5年58歳 分限帳)				
	竹中定右衛門	嗣子	②	竹中 源七郎			1.8(明治5年)	9			富田村新町			
										(明治5年24歳 分限帳)				
武永家			○	武永 伊左衛門	→杉原重純	細工/大工	25二扶持	3~5					[譜][註4]	
										1736 元文元年4月4日				
竹原家			○	竹原 忠右衛門		庄屋		2~3			大道理村			
											三島大明神(貞享)西照寺棟梁記(貞享2)西照寺門棟札(元禄5)		[防長寺社由来]	
			○	竹原 治郎右衛門		庄屋		3~5					[註4]	
											大道理田代両村御物成御米銀高一紙(享保4年)＊竜豊寺上梁願主		＊[防長寺社由来]	
武弘家			○	武弘 新兵衛		下松町下奉行(寛文年間)		1					[註4]	

竹廣家			①	竹廣 耕作		山崎隊	2.7(明治5年)	9				富田村古市町		[註4] [山崎隊日記]
											(明治5年28歳 分限帳)			
竹村家断			①	竹村 友右衛門	条右衛門	馬廻	100	2~3						[譜]
												貞享元年10月21日出仕		
	初代竹村友右衛門	長男	一	竹村 条助		新知別家/中小姓	25	3						[譜][註4]
	某女											宝永5年別家/正徳某年断絶		
	阿部豊後守家来近藤四郎兵衛	＊二男	中継	竹村 某		馬廻	150	3						[譜]
												元禄6年養子願/本家再興		
		＊	②	竹村 友右衛門	新八 条右衛門	馬廻	十五扶持	3~5						[譜]
	某女									1737	元文2年8月2日	享保19年隠居		
	二代目友右衛門	長男	③	竹村 条右衛門	新蔵 (妻奥田能登守家来中西角兵衛女)	馬廻	十五扶持	5						[譜][註4]
	初代友右衛門二女											享保19年3月家督/延享4年隠居		
	二代目友右衛門	二男	一	竹村 正経	→①竹村正経	新知別家/中小姓	25	5	39			横西町北側自東2番新		[譜]
	初代友右衛門二女									1756	宝暦6年2月晦日	享保19年3月別家		
	二代目友右衛門	＊三男	④ 断絶	竹村 友右衛門	喜六	馬廻	十八扶持	5						[譜]
	初代友右衛門二女											延享4年家督/寛延元年断絶		
竹村家	二代目友右衛門	二男	①	竹村 正経	勘左衛門 八十八 兵蔵	新知別家/中小姓	25	5	39			横西町北側自東2番新		[譜]
	初代友右衛門二女									1756	宝暦6年2月晦日	享保19年3月別家		
	児玉忠頼	＊二男	②	竹村 忠峯	澤右衛門 政右衛門	中小姓	25	5~7						[譜]
	光井源太夫姉											宝暦6年5月20日家督/明和2年2月朔日病身付退身実家		
	児玉孫左衛門馴忠	＊三男	③	竹村 忠行	龍助 孫槌	中小姓	25	7	25					[譜]
	某女									1778	安永7年2月9日	明和2年2月朔日家督/没後正普家督		
	教学院圓盛	＊三男	④	竹村 正普	兵介 周蔵 茂助 士明	中小姓/鳴鳳館助教授	25	7~8	48				本正寺[註8]	[譜][註1][註5][註8][註14][註16]
	原田幾右衛門静由女									1811	文化8年5月24日	鳴鳳館初の訓導/学頭役覧泉らと『徳府(鳴鳳館)学範』選ぶ		
	坂七右衛門経孝	＊二男	⑤	竹村 正央	健 徳隣 熊次郎 蔚	馬廻	50	8~9	59			新丁		[譜][註4]
	河内村清木十郎女									1862	文久2年10月25日	文化9年養子家督		
	竹村正央	長男	⑥	竹村 正英	幸治 好熊 幸雄	中士上等	50→14.1(M5)	9						[譜][註4]
	竹村正普女										(明治4年44歳 分限帳)	文久2年家督/明治3年譜録提出		
	竹村正央	三男	一	竹村 正賀 ☆	乙作 (正央二男早世)			9						[譜][註4]
	竹村正普女													
	竹村正央	嫡子	一	竹村 幾勝	竹村正英弟(分限帳)			9						
											(明治4年30歳 分限帳)			
竹村家			①	竹村 萬吉			1.8(明治5年)	9				徳山村西沖原		
											(明治5年19歳 分限帳)			
竹屋			○	竹屋 与右衛門		町人		8				富田新町		[註4]
												百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		
田坂家断			断絶	田坂 角左衛門			20	1						[註4]
田坂家断			断絶	田坂 藤助		馬廻	十扶持	3						[註4]
田坂家			○	田坂 玄瑞		町方医		3~頃				富海村		[藤村家譜録]
	藤村政紀	＊二男	○	田坂 寿玄		町方医		5頃				富海村		[藤村家譜録]
	岸村市右衛門女											某年富海村医業田坂玄瑞養子		
田坂家			○	田坂 玄伯		町方医		7~8						[藤村家譜録]
												藤村源内許政二女某年養女		
田坂家			○	田坂 周賢		町方医(寛政2年)		萩				須々万		[山縣家譜録]
田坂家			○	田坂 良逸		町方医		9						[註1]
												第二次長州征伐時、第四病院勤務		
田坂家			○	田坂 耕造		戸田村戸長(明治12年)		9				都濃郡戸田村		[註4]
田坂屋			○	田坂屋 善八			苗字・上下着用	7~				大道理村		[註4]
												献納並び賞美一件(天保5年)		
田島家	田島善吉	嗣子	○	田島 広吉	(長男一郎画商)	県会議員/岸田劉生終焉の家		9				糀町		[註1][註9]
												『徳山報国義会』[註1]野村恒造の永年秘書役/愛称眼玉ヒロー		[画集徳山の思い出・前田麦二]
多田家断			断絶	多田 三右衛門		蔵本付	15	不明						[註4]
多田家			①	多田 亦左衛門			1.8(明治5年)	9				福川村福川町		
											(明治5年30歳 分限帳)			
多田家			○	多田 源兵衛		徳山町人/町年寄		3.4						[註1]
												徳山藩再興功労者		
多田家			○	多田 為助		綿木綿請渡綿店(明治8年)		9				徳山町		[註1][註4]
多田家			○	多田 玄策	→谷野家			~5					徳山・八正寺(H30)	
										1729	享保14年正月13日			
多田家	多田豊聰	嗣子	○	多田 七郎左衛門	→谷野家	浪人(慶安元年頃)		1				徳山村今宿		[譜]
												盛長(摂州居住時)		

多田屋			○	多田屋 治平	治兵衛 →谷野家	酒造業/銘柄初花、花橘 天保4文政8酒造米高記載[註1]		8				徳山村 藩へ上納銀、借銀の債主として記載あり(天保末年現在)		[註1][註4]
			○	多田屋 武兵衛			上下着用	8				徳山町 献納並び賞美一件(天保5年)		[註4]
多谷家断			断絶	多谷 治右衛門			20	1						[註4]
畳屋			○	畳屋 新平		町人		3.4				広島出生・徳山 徳山藩再興に協力・見島遠島中病死		[註1]
橘家			○	橘 栄学		僧侶/私塾立花堂		宗藩				久米村 寺小屋慶応3年1月～明治7年11月読書算術習字男23女10		[註5][註14] [徳山市教育の歩み]
立野家			○	立野 熊之進		加見村長		—				加見村		[註1][註4]
田中家	某女		①	田中 克信	市左衛門	中小姓	30	1				元和年中萩より出仕		[譜]
	田中克信 某女	長男	②	田中 兼納	正右衛門 庄右衛門 式部	中小姓	30	1	58	1659	万治2年10月26日	某年家督	大迫田金剛寺(H30)	[譜]
	田中兼納 某女	長男	③	田中 克納	七左衛門	馬廻	80	1~5		1730	享保15年10月28日	西町西側自北2番 某年家督/宝永5年隠居	大迫田金剛寺(H30)	[譜][註4]
	某 某女	*	④ 断絶	田中 番蔵	平内			3				宝永5年家督/宝永7年家出/正徳元年暇断絶	大迫田金剛寺(H30)	[譜]
	田中克納 桜井新左衛門隆雄二女	*長男	⑤	田中 克敬	佐左衛門 克寿 正之助 庄右衛門	馬廻	50	3~7	78	1782	天明2年10月3日	正徳6年2月再興	大迫田金剛寺(H30)	[譜]
	川曲農家河野吉右衛門 某女	*三男	—	田中 甚七	→箱嶋某 克敬弟分	中小姓	25	5				延享3年正月家督/宝暦元年2月28日永暇	大迫田金剛寺一族あり	[譜]
	田中克敬 河曲村河野吉右衛門女	長男	—	田中 直教	→吉弘直教	中小姓	40	5~6		1762	宝暦12年7月23日	延享年中吉弘直治養子寛延年中同家督		[譜]
	田中克敬 川曲村河野吉右衛門女	二男	⑥	田中 克映	佐左衛門 七左衛門 一棒	馬廻	50	5~8	67	1805	文化2年2月16日	天明2年家督/寛政7年隠居	大迫田金剛寺(H30)	[譜]
	田中克敬 川曲村河野吉右衛門女	三男	—	田中 某		出家		5				寛延3年12月26日出家		[譜]
	田中克敬 川曲村河野吉右衛門女	四男	—	田中 直行	→中村直行	中小姓	25	6~8	73	1818	文政元年10月17日	宝暦9年中村直方養子		[譜]
	田中克敬 川曲村河野吉右衛門女	五男	—	田中 成正	→吉弘成正	馬廻	50	7	42	1790	寛政2年正月24日	明和8年11月吉弘直持養子家督		[譜]
	田中克映 浅見周助正辰妹	長男	⑦	田中 克弾	市蔵 正右衛門	馬廻	50	7~8	53	1831	天保2年2月29日	寛政7年家督	大迫田金剛寺(H30)	[譜][註4]
	増見弥次郎道経 井村宗哲庸保女	*三男	⑧	田中 道堅	芳蔵 市左衛門	馬廻	50	8~9	83	(明治4年63歳 分限帳)		西ノ丁 天保2年家督/安政4年隠居	大迫田金剛寺(H30)	[譜]
	田中道堅	長男	—	田中 牛雄	万延元年 萩堅田健助内林十郎右衛門育願			9						[譜]
	田中道堅	長男	⑨	田中 克俊 ☆	達記 克腹/牛雄同一人物か (長男万延元年妻を娶る[譜])	馬廻後中士上等	50→14.1(M5)	9		年令 逆算すると天保12年丑年生(明治4年31歳 分限帳)		安政4年家督/明治3年譜録提出/母大迫田金剛寺	大成寺共同墓地(H30)	[譜][註4]
	田中道堅	二男	—	田中 亥之助				9				安政5年萩堅田健助内戸田國吉育願		[譜]
	田中克俊 八代村西田百助妹	長男	⑩	田中 由蔵	千秋			9	69	(明治4年6歳 分限帳) 1934	昭和19年4月2日		大成寺共同墓地(H30)	
	田中克俊	二男	—	田中 熊次郎				—		(明治4年2歳 分限帳)				
			○	田中 寅太郎				—				田中千秋墓碑建立(大成寺共同墓地)		
田中家			①	田中 好久	佐右衛門	蔵本付	15	3~				正徳2年出仕		[譜][註4]
	田中好久	嗣子	②	田中 好道	丹七	蔵本付	15	~7						[譜]
	田中好道 藤井某女	長男	③	田中 道正	正蔵 伊八	蔵本付	15	7~8	63	1809	文化6年5月12日	安永4年5月20日家督		[譜]
	田中道正 櫛ヶ浜脇野某女	二男	④	田中 顕道	正蔵 伊三郎 正道	蔵本付	15	8~9	64	1859	安政6年6月8日	文化6年家督		[譜][註4]
	夜市村宗清清吉 藤村某女	*二男	⑤	田中 正道 ☆	熊吉 多口治	蔵本付後下士下等	切15一扶持後15 4.7(明治5年)	9		(明治4年31歳 分限帳)		明治3年譜録提出		[譜][註4]
	田中正道	嫡子	○	田中 正之進				9		(明治4年6歳 分限帳)				[譜]
	田中半右衛門 佐古六郎右衛門妹	二男	①	田中 仁栄	半右衛門 長兵衛	持弓	15	5~6		1760	宝暦10年6月18日	西新丁西側自北15番東向 延享元年8月10日出仕		[譜]
	須万村仲子屋杢之助 某女	*	②	田中 仁延	金五郎	持弓	15	6				宝暦10年家督/宝暦13年2月24日隠居		[譜]
	福川村某 某女	*	③	田中 仁美	與左衛門 福川村金右衛門弟	持弓	15	6~7		1776	安永5年10月26日	宝暦13年2月24日家督		[譜]

田中家	赤尾惣左衛門 某女	＊	④	田中 仁友	次郎八	持弓	15	7~8	58	1805	文化2年2月晦日	安永5年12月16日家督		[譜]
	田中仁友 初代仁栄女	長男	⑤	田中 仁俊	源蔵 長兵衛 (先妻奈古屋家臣田中堅治女)	持弓	15	8				文化2年4月23日家督		[譜][註4]
	田中仁友 初代仁栄女	三男	—	田中 某				8				文化8年奈古屋外記家臣田中堅治養子		[譜]
	田中仁俊 月山東左衛門正直妹	二男	⑥	田中 仁次	新吉	持弓	15	9			(明治4年39歳 分限帳)	嘉永2年12月家督/嘉永4年9月隠居		[譜]
	田中仁俊	嫡子	—	田中 源三郎				9			(明治3年32歳 人員録)			
	浅田知意 戸倉猪八正為女	＊二男	⑦	田中 信雅	作左衛門 清之助 妻黒川孫兵衛女	持弓後下士下等	切15後15→4.7	9			(明治4年45歳× 分限帳) (明治3年39歳 人員録)	嘉永7年2月15日家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
田中家			①	田中 澄之丞		上士粟屋栄人家来		9			(明治3年27歳 人員録)			
	田中澄之丞	嫡子	○	田中 與助				—			(明治3年3歳 人員録)			
田中家			①	田中 耕左衛門		上士奈古屋裕家来		9			(明治4年59歳 分限帳)			
	田中耕左衛門	嫡子	②	田中 賢治			4.7(明治5年)	9			(明治4年32歳 分限帳)			
田中家			①	田中 貫一		一代準士	15→4.7(M5)	9			(明治4年29歳 分限帳)			[註4]
田中家			①	田中 民之丞		下士下等	15	9		1806 1885		大道理 文久年間、藩の弾薬製造管理		[註4]
	田中民之丞	長男	②	田中 政之進			4.7(明治5年)	9			(明治4年21歳 分限帳)			
	田中民之丞	二男	—	田中 藤次郎	(林三平子分)			9				一時高木昇三養子		[御在城日記文久3年]
	田中民之丞	嫡子	—	田中 益之進				9			(明治4年14歳 分限帳)			
	田中民之丞	五男	—	田中 臺之進				9			(明治3年10歳 人員録)			
田中家			①	田中 友左衛門		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治5年)	9			(明治5年36歳 分限帳)	徳山村今宿		
	田中友左衛門	長男	○	田中 甲太郎				9			(明治5年9歳 分限帳)			
	田中友左衛門	二男	—	田中 與市				9			(明治5年7歳 分限帳)			
	田中友左衛門	三男	—	田中 孫次郎				—			(明治5年1歳 分限帳)			
田中家			①	田中 光左衛門				9			(明治5年63歳 分限帳)			
	田中光左衛門	嫡子	②	田中 多作		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治5年)	9			(明治5年25歳 分限帳)	徳山村今宿		
	田中光左衛門	嫡子	—	田中 米蔵				9			(明治5年22歳 分限帳)			
田中家			①	田中 規雉平		岩崎幾太郎組下等		9			(明治3年20歳 人員録)			
田中家			①	田中 又七				9			(明治5年56歳 分限帳)			
	田中又七	嫡子	②	田中 皆六		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治5年)	9			(明治5年25歳 分限帳)	徳山村北山		
	田中又七	嫡子	—	田中 甚助				9			(明治5年66歳 分限帳)			
	田中又七	嫡子	—	田中 百合吉				9			(明治5年15歳 分限帳)			
田中家			①	田中 亀吉				9			(明治5年63歳 分限帳)			
	田中亀吉	嫡子	②	田中 清蔵		山崎隊	1.8(明治5年)	9			(明治5年24歳 分限帳)	下松町		[註4] [山崎隊日記]
田中家			②	田中 幾蔵			1.8(明治5年)	9			(明治5年23歳 分限帳)	富田村古市町		
田中家			①	田中 一			1.8(明治5年)	9			(明治5年24歳 分限帳)	富田村平野町		
田中家			①	田中 伊左衛門		駕籠	1.8(明治5年)	9			(明治5年53歳 分限帳)	福川村		
	田中伊左衛門	嫡子	○	田中 好蔵				9			(明治5年16歳 分限帳)			

	田中伊左衛門	嫡子	—	田中 若太郎				9						
											（明治5年12歳 分限帳）			
田中家			①	田中 好左衛門		政務局支配		9						
											（明治3年67歳 人員録）			
	田中好左衛門	嫡子	○	田中 秋之丞				9						
											（明治3年30歳 人員録）			
田中家			○	田中 定吉	麦屋 瓢僊 田中屋[註8] （墓碑に俳句あり）	俳人/七草吟社四世		9					大成寺共同墓地（H30）	[註8][註9][註16]
										1898	明治31年旧4月3日	1892年『きくのなへ』著・出版山本源右衛門（国会図書館）		
田中家			○	田中 熊之進		農業/寺小屋		9				大道理村		[註1][註5][註14]
												寺小屋読書習字嘉永元年～男35女5		[徳山市教育の歩み]
田中家			○	田中 荘兵衛		農業/寺小屋		9				大道理村		[註1][註5][註14]
												寺小屋読書習字嘉永元年～男35女5		[徳山市教育の歩み]
田中家			○	田中 智賢	十郎右衛門			7						
												＊慈福寺 不許葷酒入山門 禁制石造立寛政2年		＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
田中家			○	田中 點二		養蚕方都合役（明治4年）		9						[註1][註4]
田中屋			○	田中屋 善次郎		町人		8				福川町		[註4]
												百姓一揆にて打ち壊される（天保2年）		
田中屋			○	田中屋 吉五郎		町人		8				平野町		[註4]
												百姓一揆にて打ち壊される（天保2年）		
谷家			①	谷 祐房	忠右衛門 露晨	中小姓	25	1	89					[譜][註4]
	某女									1680	延宝8年8月20日			
	谷祐房	二男	②	谷 隆房	左兵衛 長槌 七之助 ＊實参同悟居士	馬廻	御咎めに付60	1~2	60				＊徳山・福田寺	[譜]
	卜瀬又左衛門尉頼信女									1683	天和3年7月27日			＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	谷隆房	二男	③	谷 祐寿	忠右衛門 源太郎 ＊節外玄忠居士	馬廻 元禄8年大阪[註4]同10年両人役忠左〔ママ〕衛門[註1	120	2~5	71			本町東側自北7番	＊徳山・福田寺	[譜][註1][註4]
	内藤市左衛門隆重女									1725	享保10年12月14日	天和3年家督/徳山藩再興功労者/後宗藩仕官[註1P365]		＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	谷祐寿	三男	④	谷 祐倫	左兵衛 小次郎 大七	馬廻	120	3~7	79					[譜][註4]
	飯田與一衛門以正女									1768	明和5年7月21日	正徳3年8月12日家督/宝暦6年12月7日隠居		[御領町人御仕成]
	谷祐倫	長男	⑤	谷 喬房	新左衛門 忠熊 忠衛門	馬廻	120	5~7	51					[譜]
	奈古屋勘兵衛尚慶女									1775	安永4年4月12日	宝暦6年12月7日家督		
	谷喬房	長男	⑥	谷 壽祺	祐八 仙菊 祐明 子哲	馬廻	100	7~8	71					[譜][註4][註16]
										1825	文政8年10月5日	安永4年6月5日家督/寛政6年10月17日咎隠居		
	谷祐勝	＊長男	中継	谷 房芳	伴吾 谷道包と同一人、一時家續	馬廻	100	7~9	67					[譜]
	四熊村兼重甚左衛門女									1844	弘化元年8月10日	寛政6年12月20日家督		
	谷喬房	＊三男	⑦	谷 祐吉	時之丞 政義 鶴栄 直熊	馬廻/町奉行（文政5年）	120	7~8	62					[譜][註4]
	三宅某女									1830	文政13年7月21日	寛政11年3月7日家督/『谷時之丞家蔵大日記』		
	谷祐吉	長男	⑧	谷 虎	臺（台）七	馬廻		8~9				本丁		[譜][註4]
	清水玄純名正女											文政13年正月28日家督/嘉永4年譜録提出		
	谷虎	二男	⑨	谷 速水	（虎長男早世）＊妻大野直亮妹	馬廻/物頭騎馬	150	~9						[譜][註4]
	末兼左織朝貞妹										（明治3年故人 人員録）	殉難七士調役/益田右衛門切腹時警備（元治元年）		＊[御在城日記文久3年]
			⑩	谷（台七跡[註4]）		中士下等	25	9						[註4]
	谷祐寿	四男	①	谷 祐忠	忠左衛門 重五郎 永馬 登 忠平治	馬廻	50	5~7	73			東町東側自北8番		[譜]
	飯田與一衛門以正女									1774	安永3年6月27日	享保5年4月5日家督/安永元年10月23日隠居		
	谷祐忠	長男	②	谷 祐勝	左源太 常之進 喜平次	馬廻	50	7~8	76					[譜][註4]
	藤井与一右衛門甫政女									1819	文政2年7月16日	安永元年10月23日家督		
	谷祐勝	長男	③	谷 道包	喜十郎 伴吾 一時谷壽祺の養子 （二女本城此面光忠妻）	馬廻	75	8~9	67					[譜]
	四熊村兼重甚左衛門女									1844	弘化元年8月10日	文政2年9月29日家督		
谷家	谷道包	長男	④	谷 義敬	恒之進	馬廻後中士上等/目付	50→14.1（M5）	9				三番丁		[譜][註4]
	玉井宅之進忠道女										（明治4年59歳 分限帳）	弘化元年8月10日家督/文久3年譜録提出		
	谷道包	二男	—	谷 祐温	達衛 重五郎			9						[譜]
	玉井宅之進忠道女											無方流・種田流槍術		
	谷義敬	長男	⑤	谷 岩太郎	卓太郎			9						[譜]
	藤井章蔵常全妹										（明治4年15歳 分限帳）			
	谷義敬	二男	—	谷 綾雄	絢雄			9						[譜]
	藤井章蔵常全妹										（明治3年10歳 人員録）			
谷家			○	谷 子信				7~8						[註1]
												本城紫厳門下		
	谷太兵衛		○	谷 三郎兵衛				—						[譜]
	谷三郎兵衛	二男	①	谷 正幸	神兵衛 三郎兵衛	徒士	20	5	67					[譜]
	羽仁喜左衛門女									1743	寛保3年12月24日	享保16年正月13日出仕/元文6年2月20日隠居		
	谷正幸	四男	②	谷 令宣	正武 九左衛門 半蔵 藤蔵 七郎右衛門	徒士	20	5~7	63					[譜]
	長井文左衛門親治妹									1782	天明2年10月14日	元文6年2月20日家督/安永7年2月6日隠居		
	谷令宣	長男	③	谷 弥韶	三郎兵衛 六太郎 章七 米太郎	徒士	20	7~8						[譜][註4]
	大井村初代伊藤権左衛門女											安永7年2月6日家督/文化11年6月20日隠居		
谷家	谷弥韶	二男	④	谷 常吉	猪三郎 兼敬 富槌 常次郎	徒士	20	8	26					[譜]
	紫福村常永権右衛門女									1815	文化12年11月10日	長男政益病身に付文化11年6月家督		

	谷弥韶 紫福村常永権右衛門女	＊長男	⑤	谷 政盈	三郎兵衛 正常 虎之丞 八十郎	徒士	20	8~9	68	1849	嘉永2年12月2日	弟常吉死亡に付文化14年2月15日家督		[譜]
	谷政盈 宇野甚右ヱ門弘澄女	長男	⑥	谷 政國	與四郎 又五郎	徒士後下士上等	20	9			（明治3年50歳 人員録）	弘化4年正月16日家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	谷正國 萩家来三輪清吉春明女	長男	⑦	谷 甲太郎				9			（明治3年16歳 人員録）			[譜]
	谷正國 萩家来三輪清吉春明女	二男	—	谷 亀次郎				9			（明治3年14歳 人員録）			[譜]
谷家			①	谷 悌三郎			7.1（明治5年）	9			（明治4年18歳 分限帳）			
谷家			○	谷 祐彬		養種製造業者（明治23年）		—						[註1]
渓家			○	渓 智英		僧侶/寺小屋		9				大島村 寺小屋不明～明治5年[註1]＊明治5年～読書算術習字男25女8		[註1][註5] ＊[徳山市教育の歩み]
谷川家断	某女		①	谷川 義之	源左衛門 荘左衛門 (妻江戸町医師関昌伯女)	馬廻	75	7	59	1782	天明2年9月26日	奉公以前江戸両替町浪人/明和6年出仕		[譜]
	太田作右衛門 商民某	＊三男	断絶	谷川 施政（ノブマサ）	荘五郎	馬廻	75	7				寛政6年断絶		[譜]
谷口家			①	谷口 多四郎		中士	11.3（明治5年）	9		（明治4年62歳 分限帳） （明治3年55歳 人員録）		天明8(1788)年下屋敷より勤め/京都定住		[註4]
	谷口多四郎	嫡子	○	谷口 勝太郎	勝之丞			9			（明治4年18歳 分限帳）			
谷口家			○	谷口 重以		歌人		3				詩文集『梯嫣（女でなく口偏）藁詩歌』元禄15(1702)年		[註1]
谷口家			○	谷口 重郎兵衛				2~3				貞享5(1688)年証文より		[註1][註4]
谷口家断			断絶	谷口 可有		陣僧	11	3						[註4]
谷口家断			断絶	谷口 宗佐	妹児玉市六（鳥野盛英）妻	大成寺行者		~5				享保14(1729)年以降宗佐妹他芸州へ		[鳥野家譜録]
谷口家			○	谷口 幸吉		大成寺行者	13一扶持	7				大成寺開山竺印和尚取立之行者之血脈		[註3]
谷城家	某女		①	谷城 方知	代右衛門	徒士	20	5	67	1754	宝暦4年3月15日	享保17年6月出仕	江戸にて死去	[譜]
	谷城方知 上村某女	長男	②	谷城 察方	代右衛門 孫右衛門	徒士	20	5~7	54	1779	安永8年7月8日	宝暦4年家督	江戸にて死去	[譜]
	谷城察方 渡邊孫太夫武次女	長男	③	谷城 知通	幸助	蔵本付	15	7~8	72	1830	天保元年12月28日	安永8年家督/寛政2年咎筋押隠居		[譜]
	東豊井村武右衛門 某女	＊長男	④	谷城 知以	四郎右衛門	蔵本付/算用役（文化14年）	15	8~9	73	1840	天保11年12月7日	寛政4年家督/天保7年隠居		[譜][註4]
	谷城知以 谷城察方三女	長男	⑤	谷城 正盛	文輔 純平	蔵本付	15	8~9	66	1859	安政6年10月27日	天保7年家督/天保13年2月隠居	大迫田金剛寺無縁墓(H30)	[譜]
	小林甚左衛門苗恵 小林忠治盛忠女	＊四男	⑥	谷城 方辰	孫市 賢蔵 保左衛門 礼蔵	蔵本付後下士上等 制産社副社長（明治5年）	切15後20	9			（明治3年50歳 人員録）	天保13年家督/藩知事時代正権少属/商法会所御用掛(M4)		[譜][註1][註4][註14] （明治3年譜録提出）
	谷城方辰 末武村田村治右衛門女	長男	○	谷城 方直 ☆	十郎 小市 祥次 衛門三（士族人員録）			9			（明治3年24歳 人員録）	娘阿浪の墓（大迫田金剛寺無縁墓H30）		[譜][註4]
			○	谷城 亥輔	（井上隆一弟/妻喜代/長男太郎）	帝国製鉄東京出張所次長 防長バス/防長産業取締役		—	62	1891 1952	明治24年1月18日 昭和27年11月29日	徳山市新丁3957 大成寺井上家墓所石灯籠建立	大成寺共同墓地（R3）	[徳山地区人物名鑑1951]
谷野家	多田豊聰	嗣子	○	多田 七郎左衛門	盛長（摂州居住時）	浪人（慶安元年頃）		—				大阪→摂州→徳山村今宿 父多田豊聰慶長20年大阪城落城討死		[譜]
	多田七郎左衛門	嗣子	○	谷野 政直	仁兵衛		5（万治頃）	1~3				改姓谷野/宝永元年領内居住		[譜]
	谷野政直	嗣子	○	谷野 與治兵衛	與一郎 茂貫	町人御用達後徒士	切15	3~5		1752	宝暦2年正月10日	油屋丁屋敷 徳山藩再興功労者/1700年代酒造業谷野屋[註1P575]	前與治兵衛徳山・八正寺(H30)	[譜][註1][註4]
	種田真貞 徳山町釘屋市郎兵衛女	＊二男	①	谷野 直貞	新右衛門 可善 平八 又太郎 祐之丞[註4]	中小姓	25	3~7	65	1764	明和元年7月8日	東中町東側自北2番 正徳5年陣僧幼年より親子出仕/延享4年家督		[譜][註4]
	谷野直貞 徳山町中山善右衛門宗寿妹	長男	—	谷野 直行	→②谷野直行	徒士	切6現米20俵	5~7	43	1783	天明3年12月14日	宝暦5年谷野政方養子	徳山・八正寺(H30)	[譜][註4]
	谷野直貞 徳山町中山善右衛門宗寿妹	二男	②	谷野 忠敬	喜代助 平七 喜代八	中小姓	25	7	55	1801	享和元年3月2日	明和元年家督		[譜]
	谷野直貞 徳山町中山善右衛門宗寿妹	三男	—	谷野 忠保	→宗 忠保	中小姓	25	7~8				三田尻佐々木行忠養子天明8年離縁寛政6年宗政直養子		[譜]
	谷野忠敬 谷野与治平衛政方女	長男	③	谷野 方敬	直忠 勇之丞 (妻中山伴七勝房女)	中小姓	25	7~8	53	1826	文政9年9月2日	享和元年家督		[譜]
	岡武左衛門常方 岡逸八常直女	＊三男	④	谷野 常則	新兵衛 百合之助	中小姓	25	8~9	49	1850	嘉永3年10月26日	文政3年養子同9年家督/天保8年咎隠居		[譜]
	谷野常則 谷野方敬女	長男	⑤	谷野 直雅	哲之介 嘉熊	中小姓	25	9				天保8年家督		[譜]

	谷野常則 谷野方敬女	二男	⑥	谷野 温良 ☆	始 政衛 俄之助 直俄 直政 (妻三丘村石井右衛門女)	中小姓後中士下等	25→10.2(M5)	9			(明治4年43歳 分限帳)	桜馬場 嘉永2年家督/益田右衛門切腹時警備中間頭(元治元年)	大迫田(R1)	[譜][註4] (文久2年譜録提出)
谷野家			○	多田 玄策				—		1729	享保14年正月13日		徳山・八正寺(H30)	
	谷野政直	嗣子	○	谷野 與治兵衛	與一郎 茂貫	町人御用達後徒士	切15	3~5		1752	宝暦2年正月10日	油屋丁屋敷 徳山藩再興功労者/1700年代酒造業谷野屋[註1P575]	前與治兵衛徳山・八正寺(H30)	[譜][註1][註4]
	徳山江田梅田屋七郎左衛門 手廻小頭十右衛門女	＊長男	①	谷野 政方	與治兵衛 治兵衛 屋号多田屋治兵衛/梅田屋與治兵衛	徒士 町老格	切6現米20俵	5	32	1754	宝暦4年9月8日	油屋丁屋敷 宝暦2年家督	徳山・八正寺(H30)	[譜]
	谷野直貞 徳山町中山善右衛門宗寿妹	＊長男	②	谷野 直行	坂之丞 与一郎	徒士	切6現米20俵	5~7	43	1783	天明3年12月14日	宝暦5年養子	徳山・八正寺(H30)	[譜][註4]
	谷野直行 中山惣左衛門勝長妹	長男	③	谷野 光基	茂貫 與一(市)郎 屋号多田屋治兵衛	茶道(寛政11年)	30	7~8	56	1818	文政元年6月17日	本町 天明4年家督/献納並び御賞美(延享～文化年間記載)	徳山・八正寺(H30)	[譜][註4][註14] [御領町人御仕成]
	谷野光基 伊藤十之進亮嗣女	長男	—	谷野 光粛	巌之助			8		1816	文化13年11月11日		徳山・八正寺(H30)	[譜]
	下松山城屋林孝左衛門 林又五郎女	＊二男	④	谷野 政蕃	與一左衛門 甚助 盛蔵 林伴右衛門弟	中小姓/用達商人	45	7~8	45	1839	天保10年6月8日	文政元年家督	徳山・八正寺(H30)	[譜][註1][註4]
	林孝左衛門倅伴右衛門 国広吉郎右衛門永慶女	＊二男	⑤	谷野 武勝	金助	中小姓	45	9				天保10年家督/嘉永2年譜録提出	徳山・八正寺一族あり	[譜]
			○	谷野 俊雄				—				谷野家累世墓建立昭和63年大迫田八正寺	徳山・八正寺一族あり	
谷野家			○	谷野 吉兵衛				3				徳山藩再興功労者		[註1]
谷野家			①	谷野 市五郎				9			(明治5年68歳 分限帳)			
	谷野市五郎	嫡子	②	谷野 瀧助		河合組下等	3.35(明治5年)	9			(明治5年32歳 分限帳)	徳山村今宿		
			○	谷野 定次郎	谷野瀧助弟			—			(明治5年3歳 分限帳)			
谷野家			①	谷野 常蔵		河合組下等	3.35(明治5年)	9			(明治5年29歳 分限帳)	徳山村今宿		
	谷野常蔵	嫡子	○	谷野 亀助				—			(明治5年2歳 分限帳)			
谷野家			①	谷野 松三郎			1.8(明治5年)	9			(明治5年26歳 分限帳)	徳山村今宿		
種田家	某女		①	種田 真貞	武兵衛	蔵本付	15	3		1715	正徳5年正月29日	元禄7年出仕/開作御証拠物控[徳山毛利文庫]		[譜][註4]
	種田真貞 徳山町釘屋市郎兵衛女	長男	②	種田 直治	善兵衛 久米七	蔵本付	15	3~5	34	1738	元文3年11月16日	正徳5年7月家督/直治咎筋有死後元文4年断絶同日三代目再興		[譜][註4]
	種田真貞 徳山町釘屋市郎兵衛女	二男	—	種田 直貞	可善 又太郎	新知別家/陣僧	11	3~				正徳5年11月別家出仕		[譜]
	種田真貞 徳山町釘屋市郎兵衛女	三男	—	種田 直常	→浅海直常	中小姓	25	5~7	65	1773	安永2年11月1日	元文元年浅海通意家督		[譜]
	須々万村三浦十郎兵衛 種田真貞長女	＊	③	種田 直久	半平 藤蔵 武兵衛 民兵衛[註4ママ] (妻文政4年2月29日卒)	蔵本付/算用役	15	5~8	78	1803	享和3年5月28日	安永9年咎遠島天明4年帰島寛政12年被免再興		[譜][註4]
	種田直久 種田直治女	長男	—	種田 直定	→宇田直貢	徒士	20	7~8	67	1827	文政10年12月20日	天明8年宇田伊兵衛知直養子		[譜]
	種田直久 種田直治女	二男	④	種田 直恭	甚平 甚之助	蔵本付	15	8	41	1807	文化4年正月29日	享和2年7月家督		[譜]
	種田直久 種田直治女	＊三男	⑤	種田 直房	直右衛門	蔵本付	15	8				文化4年2月27日家督		[譜][註4]
	種田直房 上村戸倉八右衛門女	長男	⑥	種田 直方	九郎右衛門 芳助 平兵衛	蔵本付	15	8~9	61	1853	嘉永6年12月29日	桜馬場外横丁南側自西2番 文政2年2月15日家督		[譜]
	種田直方 小林甚左衛門苗恵女	長男	⑦	種田 直孝	多作 雄之助	蔵本付後下士下等	切15後15→4.7	9			(明治4年36歳 分限帳)	嘉永7年3月21日家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	種田直孝 三吉嘉兵衛経定女	長男	⑧	種田 清造				9			(明治4年10歳 分限帳)			
	種田直孝	二男	—	種田 悌之助				—			(明治4年2歳 分限帳)			
種田家			①	種田 幾蔵				9			(明治5年64歳 分限帳) (明治3年65歳 人員録)			
	種田幾蔵	嫡子	②	種田 喜一		河合組下等	3.35(明治5年)	9			(明治5年29歳 分限帳)	徳山村浦石		
	種田喜一	長男	○	種田 満四郎				—			(明治5年4歳 分限帳)		大迫田徳応寺(H30)	
	種田喜一	二男	—	種田 □次郎				—			(明治5年2歳 分限帳)			
	種田幾蔵	嫡子	—	種田 久吉	久熊 種田喜一弟			9			(明治5年26歳 分限帳)			

田畑家			①	田畑 芳信	利左衛門 本誉超善利覚居士			1~3	61			富田新町	富田新町浄真寺	
										1709	宝永6年9月15日	妻雲誉利宣妙照大姉元禄2年4月25日卒		[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
			⑥	田畑 勇助								富田新町	富田新町浄真寺	
												三女ラク蔵島屋初代原田岩衛門(原田勇吉二男)嫁		[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
田畑家			○	田畑 作左衛門		富田古市開作		3						[註1]
												元禄14年(1701)河村弥三右衛門、石田九郎兵衛と開作		
田畑家			○	田畑 太郎右衛門	寂山浄光信士			3					徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
										1715	正徳5年8月25日			[徳山市社寺文化財調査(S59)]
田畑家	田畑善左衛門高逸	嗣子	○	田畑 高昌	善六	細工/桶屋		—						[譜]
	某女													
	田畑善六高昌	長男	①	田畑 清高	善左衛門	細工/桶屋	13二扶持	7	48					[譜][註4]
	某女									1779	安永8年5月14日	御奉公以前より御家微賤召仕/明和7年出仕		
	田畑清高	長男	②	田畑 高孝	佐五郎 善之助 喜藤治 平九郎	細工/桶屋	13二扶持	7~8	58			西横丁北側自東4番新南向		[譜][註4]
	津森治左衛門女									1826	文政9年11月20日	安永8年家督		
	田畑清高	二男	—	田畑 清之				8						[譜]
	津森治左衛門女				三戸郡平清晴養子							寛政10年12月27日三戸郡平清晴養子		
	田畑高孝	二男	③	田畑 高知	善左衛門 亀之進	細工/桶屋	13二扶持	8~9				西横丁北側後通		[譜]
	東豊井村喜三右衛門女									(明治4年62歳 分限帳)		文政9年家督/文久3年譜録提出		
	田畑高知	二男	④	田畑 高之	耕蔵 実蔵(士族人員録) (妻河内村小兵衛女)	細工/桶屋 後 営作舎支配準士	13二扶持	9						[譜][註4]
	内山平七忠峯女									(明治4年33歳 分限帳)				
	田畑高知	四男	—	田畑 高常 ☆	善次郎			9						[譜][註4]
	内山平七忠峯女									(明治4年27歳 分限帳)				
	田畑高知	六男	—	田畑 高孝 ☆	栄之丞 龍作 高知長男三男五男七男早世			9						[譜][註4]
	内山平七忠峯女									(明治4年20歳 分限帳)				
			⑤	田畑 民次郎	(実蔵病気の為家督)		4.7(明治5年)	9						
										(明治5年14歳 分限帳)				
田畑家			①	田畑 米作		河合組下等	3.35(明治5年)	9				徳山村風呂ヶ迫		
										(明治5年49歳 分限帳)				
	田畑米作	嫡子	○	田畑 柳吉				9						
										(明治5年13歳 分限帳)				
			—	田畑 作之丞	田畑米作兄			9						
										(明治5年61歳 分限帳)				
田畑家			○	田畑 文宅		町方医		9						[註1]
												第二次長州征伐時、第二病院勤務		
田原家			①	田原 進		山崎隊	2.7(明治5年)	9				富田村古市町		[註4]
										(明治5年25歳 分限帳)				[山崎隊日記]
玉井家	大内左衛門佐興広	嗣子	○	大内 政房	式部少輔			大内						[譜]
	大内政房	嗣子	○	玉井 弘興	出雲 權太郎 政則			元就				下松鷺頭山麓		[譜]
												改姓玉井		
	玉井弘興	嗣子	○	玉井 義教	兵庫			—						[譜]
	玉井義教	二男	①	玉井 政親	弥兵衛 熊寿	中小姓	30三扶持	1						[譜]
	某女									1661	寛文元年12月18日	寛永年中出仕		
	玉井政親	二男	—	玉井 方殷	→①玉井方殷	新知別家/中小姓	32	1	86			西町東側北2番		[譜][註4]
	某女									1728	享保13年6月13日	寛文年中新知別家		
	玉井政親	長男	②	玉井 政信	権左衛門 三九郎 金十郎 左衛門	馬廻	50	1~3	65			西町西側自北1番		[譜]
	某女									1704	宝永元年7月11日	寛文2年5月17日家督		
	玉井政信	長男	③	玉井 政長	弥兵衛 久三郎 金十郎	馬廻	100	3~5	78					[譜][註4]
	田中七左衛門克納姉									1738	元文3年11月8日	宝永元年11月5日家督/元文3年7月24日隠居		
	玉井政長	長男	④	玉井 政冬	権左衛門 金十郎 要人	馬廻	100	5~7	76					[譜]
	小周防三輪勘左衛門女									1773	安永2年4月20日	元文3年7月24日家督/宝暦8年10月10日隠居		
	玉井政冬	長男	⑤	玉井 政敏	弥兵衛 熊蔵	馬廻	80	5~7						[譜]
	相川清左衛門真葉女											明和9年6月2日押込隠居		
	玉井政冬	＊二男	⑥	玉井 政式	襄右衛門 権十郎	馬廻	80	7	44					[譜]
	相川清左衛門真葉女									1777	安永6年10月18日	明和9年6月2日家督		
	玉井政冬	三男	—	玉井 盈倫	定人 百合七 古	新知別家/中小姓	25	宗藩						[譜]
	相川清左衛門真葉女											延享3年8月朔日新知別家後萩へ/毛利秀之助就正家来		
	玉井政敏	長男	退身	玉井 政芳	浅之助 民五郎	馬廻	80	7						[譜]
	遠藤孫左衛門将方女											寛政元年2月7日病身付退身弟政虎同年家督		
	玉井政敏	＊二男	⑧	玉井 政虎	栄之進 右源太 (百姓一揆等の責任野島流罪没す)	馬廻	80	7~8	62	1777	安永6年8月	西丁西側自北1番生[註8]	徳山・徳応寺 [註8]	[譜][註1][註4][註5][註8][註9]
	遠藤孫左衛門将方女									1838	天保9年4月17(23)日	福川塩田開作の尽力に対し住民和多津美神社建立		[註11][註14]
	玉井政虎	長男	⑨	玉井 政貞	脩(修)蔵 忠之進 孫四郎 良郷 (文政10家督天保5断絶嘉永6再興)	中小姓/興譲館訓導	25	8~9						[譜][註1][註5][註8][註16]
	羽仁傳蔵保定女									1858	安政5年2月27日	小川乾山帰国再興せしむ/詩文『瀟洒会』同人/陽明学		
	玉井政貞	長男	⑩	玉井 政恒	幹之進 (政幹であれば徳山小5代校長)	中小姓後中士下等	25→10.2(M5)	9						[譜][註4][註8]
	磯部四郎左衛門増清妹									(明治4年18歳 分限帳)		万延元年家督/明治3年譜録提出		
玉井家			○	玉井 政幹		岐陽小学校長		—				新丁		
														[翰墨一架 有吉鼠弟著]

玉井家	大内政房	嗣子	○	玉井 弘興	出雲 權太郎 政則			元就				下松鷺頭山麓		[譜]
												改姓玉井		
	玉井弘興	嗣子	○	玉井 義教	兵庫			—						[譜]
	玉井義教	二男	○	玉井 政親	弥兵衛 熊寿	中小姓	30三扶持	1						[譜]
	某女									1661	寛文元年12月18日			
	玉井政親	二男	①	玉井 方殷	嘉兵衛	中小姓	32	1~5	86			西町東側北2番		[譜][註4]
	某女									1728	享保13年6月13日	寛文年中新知別家/正徳5年9月25日隠居		
	玉井方殷	二男	—	玉井 方信	→①玉井方信	新知別家/馬廻	50	5~7	69			鐘楼町東側自北3番		[譜]
	小周防村山根十兵衛女									1778	安永7年10月2日	享保16年3月28日出仕/安永4年正月28日隠居		
	国冨惣左衛門直政	＊二男	②	玉井 方敬	弥右衛門 直芳 友甫 寸七	中小姓	32	3~5	76					[譜]
	河内村原田善左衛門女									1758	宝暦8年7月16日	正徳5年9月25日家督/宝暦4年10月14日隠居		
	玉井方敬	長男	③	玉井 一貫	嘉兵衛 左源太 文平 文卿 小周	馬廻	50	5~7	71	1722	享保7年	熊毛郡小周防村生まれ	徳応寺［註8]亀井南溟選	[譜][註1][註5][註8][註14][註16]
	玉井方殷女				大持院釈雲布昭曜居士					1792	寛政4年2月21日	鳴鳳館初の目付役/無方流芸術指南役/『剣技論』著		
	谷某	＊二男	④	玉井 忠道	宅之進	中小姓	32	7~8	77					[譜][註4][註5]
	藤井與一右衛門甫政女				谷左源太祐勝弟					1826	文政9年3月8日	寛政4年4月25日家督/文政7年隠居/無方流剣槍術取立方		
	玉井忠道	長男	⑤	玉井 方直	傳 傳之進 方英 行簡	中小姓	42	8	32				番人掛勤中江戸死去	[譜][註5]
	玉井一貫女									1828	文政11年5月10日	文政7年8月朔日家督/無方流剣槍術取立方		
	玉井忠道	二男	—	玉井 惟愷	→坂田惟愷	馬廻	50	8~9	57			二番丁		[譜]
	玉井一貫女									1856	安政3年6月20日	文政元年坂田亀五郎忠友跡家督		
	中村忠範	＊二男	⑥	玉井 英相	琢兵衛 善兵衛 養蔵 善蔵	中小姓	42	8~9	33					[譜]
	瀬戸or須万村有馬丈助女				中村治春秀弟					1845	弘化2年7月6日	天保2年8月13日家督		
	玉井英相	長男	⑦	玉井 方恒	紀兎	中小姓	42	9						[譜][註4]
	浅見又兵衛敏女									（明治4年35歳 分限帳）		弘化2年11月15日家督/文久元年8月23日隠居		
	楢崎翠嶺誠美	＊四男	⑧	玉井 應	恭蔵 民弥 又兵衛	中士下等/書道家	42→14.1（M5）	9	60？	（明治4年38歳 分限帳）			大成寺共同墓地（H30）	[譜][註4][註5]
	磯部九郎左衛門安禎妹				遂（玉井貞清［譜］）→楢崎應（碧渓）					1901	明治34年8月27日	文久元年家督/学館最後の書道教師		（元治元年譜録提出）
玉井家	玉井出雲弘興	嗣子	○	玉井 義教	兵庫			—						[譜]
	玉井義教	二男	○	玉井 政親	弥兵衛 熊寿	中小姓	30三扶持	1						[譜]
	某女									1661	寛文元年12月18日	寛永年中出仕		
	玉井政親	二男	○	玉井 方殷	嘉兵衛	中小姓	32	1~5	86					[譜]
	某女									1728	享保13年6月13日			
	玉井方殷	二男	①	玉井 方信	丹右衛門 傳助 嘉右衛門	馬廻	50	5~7	69			鐘楼町東側自北3番		[譜]
	小周防村山根十兵衛女									1778	安永7年10月2日	享保16年3月28日出仕/安永4年正月28日隠居		
	玉井方信	長男	②	玉井 方珍	百合槌 文蔵	馬廻	50	7~8	75			馬場町北側自西4番		[譜][註4]
	増野長伯良春姪				丹右衛門［註4 寛政5年地山頭］					1825	文政8年4月19日	安永4年家督/文化7年8月7日隠居		
	玉井方珍	長男	③	玉井 方質	最中 百合之丞 嘉平治	馬廻	50	8	37					[譜][註4]
	鹿野村国重七郎右衛門恒久女									1827	文政10年3月2日	文化7年8月7日家督		
	別府村末兼某	＊	④	玉井 忠則	玄仲	馬廻	50	8						[譜]
					（中継も病身に付退身）							文政11年2月20日家督/天保6年正月28日隠居		
	玉井方質	長男	⑤	玉井 貞清	謙之丞 丹治 □恒	馬廻後中士上等	50→14.1（M5）	8~9				桜馬場		[譜][註4]
	渡邊竹□女					藩知事時代正権少属				（明治4年51歳 分限帳）		天保6年正月28日家督		
	玉井貞清	二男	⑥	玉井 希一郎	好雄			9						
	遠藤春岱正衛女									（明治4年5歳 分限帳）				
玉井家	玉井兵庫盛房	嗣子	○	玉井 孫三郎				—					大迫田一族あり	[譜]
	玉井孫三郎	嗣子	○	玉井 盛光	太兵衛			—					大迫田一族あり	[譜]
	玉井盛光	＊嗣子	○	玉井 文太夫				—					大迫田一族あり	[譜]
	玉井文太夫	嫡子	①	玉井 盛道	弥一右衛門 盛之 弥右衛門	持弓	15	3~5	87				大迫田八正寺（R1）	[譜][註1]
	河内村玉井盛光女				清水源内					1758	宝暦8年7月2日	寛延2年7月3日隠居/徳山藩再興功労者［註1]『隠秘録』		
	玉井盛道	長男	—	玉井 盛明	→①玉井盛明	新知別家/持弓	15	5~7	61			横町北側西1番南向		[譜]
	徳山村福谷次郎兵衛女									1777	安永6年8月18日	元文3年出仕/父弥一右衛門盛道の日記を基に『隠秘録』編纂		
	玉井盛道	二男	—	玉井 盛景	→①玉井盛景	新知別家/蔵本付/矢師	15一.五扶持	5~7	64			外馬場町南側自西3番		[譜]
	松井伊左衛門信定女									1787	天明7年9月3日	宝暦4年12月9日出仕		
	玉井盛道	三男	②	玉井 盛行	弥七 七十郎	持弓	15	5~7	42				大迫田八正寺（R1）	[譜]
	松井伊左衛門信定女									1771	明和8年3月2日	寛延2年7月3日家督		
	玉井盛明	＊長男	③	玉井 盛胤	→②玉井盛胤	持弓	15	7~8	60				大迫田一族あり	[譜]
	水木與一右衛門師行妹									1820	文政3年9月29日	明和8年4月9日家督/安永4年10月15日実家へ差返		
	玉井盛行	＊長男	④	玉井 盛信	左内 弥七 市槌 民助	持弓/算用役	15	7~8	36				大迫田八正寺（R1）	[譜][註4]
	荒仕子小頭好右衛門女									1805	文化2年7月22日	安永4年10月15日家督/大阪蔵屋敷算用役中死亡		
	玉井盛信	長男	⑤	玉井 盛雄	弥之助 九左衛門 盛次	持弓	15	8	40				大迫田八正寺（R1）	[譜][註4]
	檜皮清兵衛女									1836	天保7年4月4日	文化2年9月10日家督		
	玉井盛信	二男	—	玉井 信次郎	→小林尚芳	徒士	20	8~9	58			上御弓丁	大成寺共同墓地（H30）	[譜]
	檜皮清兵衛女									1860	安政7年正月18日	文政8年小林善左衛門知易跡家督		
	玉井盛次	長男	⑥	玉井 盛光	定吉 吉次郎 友太 牧之助	持弓	15	8~9	29				大迫田八正寺（R2）	[譜]
	渡邊源蔵保孝女									1854	嘉永7年2月12日	天保7年6月6日家督		

	重増松斎好貞 戸倉某女	＊二男	⑦	玉井 盛志	弥兵衛 平次 友信	持弓後下士下等	切15後15	9	40	（明治3年40歳 人員録） 1870 明治3年5月3日		大迫田八正寺（R2） 六代死後養子/安政3年家督	[譜]
	玉井盛志 玉井盛次三女	嗣子	⑧	玉井 弥太郎			4.7（明治5年）	9		（明治4年15歳 分限帳）		大迫田一族あり 明治3年譜録提出	[譜][註4]
	玉井盛志	嫡子	—	玉井 良吉				—		（明治4年4歳 分限帳）		大迫田一族あり	
玉井家	玉井盛道 徳山村福谷次郎兵衛女	長男	①	玉井 盛明	源之助 盛長孫八『隠秘録』	持弓	15	5~7	61	1777 安永6年8月18日	横町北側西1番南向 元文3年出仕/父弥一右衛門盛道の日記を基に『隠秘録』編纂		[譜]
	玉井盛明 水木與一右衛門師行妹	長男	②	玉井 盛胤	栄八 源之助 郡右衛門 孫三郎 （妻水木師行長女）	持弓	15	7~8	60	1820 文政3年9月29日	明和8年玉井盛行家督安永4年戻り同6年8月6日家督		[譜][註4]
	渡邊九郎兵衛直 玉井盛胤女	＊長男	③	玉井 盛芳	栄左衛門 為三郎	持弓	15	8~9			文政3年11月20日家督		[譜]
	弘中市左衛門忠愛 古市町中村善吉女	＊二男	④	玉井 盛潔 ☆	彦三 治郎 直重	持弓後下士下等	切15後15→4.7	9		（明治4年43歳 分限帳）	嘉永6年11月24日家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	玉井盛潔 三代盛芳女	嫡子	○	玉井 喜代之進				9		（明治4年7歳 分限帳）			[譜]
			○	玉井 琢磨				—			『隠秘録』原本所蔵		[徳山図書館叢書24集]
玉井家	玉井盛道 松井伊左衛門信定女	二男	①	玉井 盛景	丈右衛門 （妻井上彦助忠知女）	蔵本付/矢師	15一.五扶持	5~7	64	1787 天明7年9月3日	外馬場町南側自西3番 宝暦4年12月9日出仕		[譜]
	四熊村庄屋兼重甚左門 坂本善左衛門通和三女	＊三男	②	玉井 秀盛	庄八 （妻盛景女）	蔵本付/矢師	15一.五扶持	7~8	70	1830 天保元年6月19日	天明7年10月28日家督		[譜][註4]
	玉井秀盛 初代盛景女	二男	③	玉井 盛孝	源右衛門 吉之助 彦助 （妻平野光忠女）	蔵本付/矢師	15一.五扶持	8~9		（明治4年74歳 分限帳）	天保元年8月28日家督/安政3年隠居		[譜]
	玉井秀盛 初代盛景女	三男	—	玉井 光伴	→平野政伴	持弓	15	8~9		（明治3年67歳 人員録）	天保5年平野光忠跡家督		[譜][註4]
	大向村益成仙左衛門 某女	＊二男	④	玉井 光盛 ☆	勝之丞 （妻三代盛孝女）	蔵本付後下士下等	15一.五扶持	9			安政3年家督		[譜][註4]
		＊	⑤	玉井 章次			4.7（明治5年）	9		（明治4年20歳 分限帳）	明治3年譜録提出		[譜]
玉井家	①玉井六郎衛	嗣子	②	玉井 平治郎	初代平治郎	酒造業		宗藩			熊毛郡光井村野原		[玉井家略系図/玉井伸昌]
		嗣子	③	玉井 平治郎	二代目平治郎	酒造業		宗藩			熊毛郡光井村野原		[玉井家略系図/玉井伸昌]
		嗣子	④	玉井 嘉吉		酒造業（銘酒玉川）		宗藩			熊毛郡光井村野原		[玉井家略系図/玉井伸昌]
	玉井嘉吉	嗣子	○	玉井 熊輔		酒造業（銘酒玉川）		宗藩			熊毛郡光井村野原		[玉井家略系図/玉井伸昌]
	玉井熊輔 玉井ハル	嗣子	○	玉井 延一	（妻浅田久兵衛女イワ）	実業家（書籍/運輸/信用組合） 徳山実業協会/商工会会長		—	70	1948 昭和23年2月13日	熊毛郡光井村野原/徳山吉屋町 徳山本町玉井商店（大正末～昭和初期）		[註2][徳山地方の人物を語る] [註9][玉井家略系図/玉井伸昌]
	玉井嘉吉	嗣子	○	玉井 喜作	（妻原田エツ）	独逸学校/帝大医学部予備 札幌農学校教授		—	41	1866 慶応2年5月 1906 明治39年	熊毛郡光井村/北海道 シベリア横断/独逸語雑誌『東亜』刊行/ハルチック艦隊出港報告	光市光井野原墓地	[コラム植村芳弘] [玉井家略系図/玉井伸昌]
玉野家	井上與三右衛門兼時	嗣子	○	井上 兼光	佐渡守			—					[井上家譜録]
	井上佐渡守兼光 玉野勘解由左衛門女	嗣子	○	玉野 兼成	小右衛門			—					[井上家譜録]
	玉野小右衛門兼成 伊藤又右衛門女	二男	①	玉野 光利	又左衛門	蔵本付	三扶持	5	86	1749 寛延2年5月18日	享保19年出仕/元文2年隠居		[井上家譜録]
	玉野光利 富田村医師四熊休庵女	長男	—	玉野 保實	→東保實	中小姓	25	5~7	76	1777 安永6年正月4日	享保11年養子/延享5年朝鮮使節団の所用を弁ずる為乗船	徳山・福田寺（R4）	[井上家譜録]
	玉野光利 富田村医師四熊休庵女	二男	②	井上 利友	以下→井上利友井上家			5~8					[井上家譜録]
玉野家			①	玉野 国蔵		岩崎幾太郎組上等	4.36（明治5年）	9		（明治5年31歳 分限帳）	徳山村夕顔町		
玉野家			①	玉野 琢平		岩崎幾太郎組下等	3.35	9		（明治3年20歳 人員録）	徳山村北山		
	豊前国田中大蔵政忠	嗣子	○	田中 兼政	隼人			—			萩領熊毛郡浅江 田中大蔵政忠父戦死孤児浪人成		[譜]
	浅江村田中兼政	嗣子	○	田村 満房	判兵衛 （田村に改姓）	農業（延宝年間）		—					[譜]
	田村判兵衛満房	嗣子	○	田村 義房	五兵衛			—					[譜]
	田村義房 小田某女	長男	①	田村 道俊	助六 助太夫 英性院詰叟道俊居士	徒士/舩方	20	3~5		1739 元文4年10月10日	東端町東側自北17番西向 元禄16年出仕/妻夢相院春應遊光大姉元文6.正月18卒		[譜][註4]
	譲羽村山本茂左衛門通玄 嶋田村三戸某女	＊三男	②	田村 正昌	傳八 正喬 定量院大機宗雄居士	徒士/勘定下役	20	~5	49	1748 寛延元年6月19日	某年家督/妻心操院松巌壽青大姉宝暦5年4月2日卒		[譜]
	田村正昌 吉原吉右衛門宣陳女	長男	③	田村 敬時	傳右衛門 冨熊 角左衛門 覺明院秀峰宗禅居士	徒士/算用役他	20	5~7	60	1798 寛政10年8月27日(家)	寛延元年家督/妻性室院智海禅尼文政12年6月29日卒		[譜][註4] 8月28日卒[譜]

田村家	田村敬時 平田村棟居與兵衛女	長男	④	田村 義文	権太夫 吉次郎 功運院忠峯良義居士	徒士/算用役他 八重姫様(元蕃正室)輿入御用掛	20	7~9	62	1845	弘化2年3月29日	寛政10年家督/妻覺樹院貞林宗操大姉慶応4年4月9日卒		[譜][註4]
	田村義文 河村弥市幸嗣女	長男	⑤	田村 義明	忠太 明 與十郎 耕雲 竹里館 雪和 大叢軒知竹耕雲居士/先妻天保14卒	中小姓後中士下等 画家/俳人/槍術	25	8~9	83	(明治4年67歳 分限帳) 1888	明治20年3月8日	一番丁 弘化2年2月17日家督/美濃派三代目[註1]/大島流槍術	徳山・福田寺(R2)	[譜][註1][註3][註4][註16] (文久3年譜録提出)[家譜]
	田村義文 河村弥市幸嗣女	長女	—	田村 某女	徳山殉難七士信田作太夫徽胤母			8~9				文政7年11月朔日信田十左衛門盛諄嫁		[譜]
	田村義文 河村弥市幸嗣女	二男	—	田村 道直	敏衛 重吉 津和野亀井家来小野寺道休養子			津和野				天保5年津和野亀井能登守家来小野寺所左衛門道休養子		[譜]
	田村義明 萩末次太左衛門通直妹	長男	⑥	田村 義方	民也(分限帳) 無等斎頑翁畊石居士	銀行員/西洋雑貨店経営	25→10.2(M5)	9	55	(明治4年17歳 分限帳) 1910	明治42年3月10日	妻ムラ・無量斎徳室妙真大姉昭和19年7月4日卒		[田村家家譜]
	田村義明 萩末次太左衛門通直妹	二男	—	田村 新治				9		(明治4年10歳 分限帳)				
			断絶	伊藤 豊一	田村義方女婿			—				妻ナカ・鳳林院法雲南柯大姉昭和27年11月26日卒66歳		[田村家家譜]
田村家			○	田村 時蔵		中小姓		9				元治元年江戸藩邸没収時幽囚		[註16]
田村家			①	田村 誠次	初次郎(士族人員録)	河合組上等	4.36(明治5年)	9		(明治5年22歳 分限帳)		徳山村今宿		
田村家			①	田村 米蔵		河合組下等	3.35(明治5年)	9		(明治5年28歳 分限帳)		徳山村今宿		
田村家			①	田村 市右衛門		厩組	3.35(明治5年)	9		(明治5年34歳 分限帳)		徳山村大河内		
田村家			①	田村 友蔵				9		(明治5年58歳 分限帳)				
	田村友蔵	嫡子	②	田村 信次郎			1.8(明治5年)	9		(明治5年26歳 分限帳)		生野屋村		
	田村友蔵	嫡子	—	田村 道次郎				9		(明治5年20歳 分限帳)				
田村家			①	田村 與七		政務局支配	1.8(明治5年)	9		(明治5年67歳 分限帳)		徳山村今宿		
	田村與七	嫡子	○	田村 友吉				9		(明治5年13歳 分限帳)				
田村家			①	田村 熊兵衛		政務局支配	1.8(明治5年)	9		(明治5年64歳 分限帳)		徳山村今宿		
	田村熊兵衛	二男	○	田村 吉次郎				9		(明治5年15歳 分限帳)				
	田村熊兵衛	三男	—	田村 光次郎				9		(明治5年15歳 分限帳)				
	田村熊兵衛	四男	—	田村 四郎吉	四郎次郎			9		(明治5年11歳 分限帳)				
	田村熊兵衛	五男	—	田村 五郎吉				9		(明治5年6歳 分限帳)				
田村家			○	田村 市右衛門		都濃郡第9区副戸長 (明治4年畦頭)		9				金峯村		[註4]
田村家			○	田村 嘉作		都濃郡譲羽村戸長(M18年) 下松町長(大正10～14年)		—				都濃郡譲羽村/末武南村 自治功労者		[註4] [徳山地方の人物を語る]
為国家			○	為国 清左衛門		庄屋		3				山田村 元禄14年山田村光円寺覚書		[防長寺社由来]
為国家			①	為国 瀧蔵			1.8(明治5年)	9		(明治5年33歳 分限帳)		山田村		
為国家			①	為国 要之進		山崎隊	1.8(明治5年)	9		(明治5年31歳 分限帳)		山田村		[註4] [山崎隊日記]
			○	為国 安之進[註4]		山崎隊		9						[註4] [山崎隊日記]
為国家			①	為国 源九郎			1.8(明治5年)	9		(明治5年35歳 分限帳)		山田村		
為国家			①	為国 連左衛門				9		(明治9年45歳)		山田村 明治9年萩の乱捕縛後放免		
田門家断			断絶	田門 十左衛門			100	1						[註4]
俵家			○	俵 直輔	月杏庵 表人	俳人/小児科医院		—		1933	昭和8年[註9]	徳山幸町後佐渡町 徳山美濃派鼓吟社十二代目 [註1]		[註1][註9]
近間家			○	近間 翁軒	(養女井本好右衛門女山田勝定妻宝暦) (妹元文5年三浦盛信嫁)	町方医		5~7				四熊村 養妹杉原治郎右衛門重英女→宝暦9年11月藤村政武嫁		[藤村家/三浦家/山田家譜録]
近間家			①	近間 玄岱	粟屋正義家養育	町方医		~9		(明治3年76歳 人員録)		見学堂に学ぶ/第二次長州征伐時、第三病院勤務[註1]		[註1]
	近間玄岱	長男	②	近間 松軒	(妻江波磯吉長女ふみ) 粟屋正義家養育	町方医(M9帰農)		9		1838 (明治3年36歳 人員録)	天保9年5月24日	第二次長州征伐時、第三病院勤務[註1]		[註1]

近間家			①	近間 弾蔵		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9			徳山村今宿		
										(明治5年28歳 分限帳)	(明治3年26歳 士族人員録)		
近森家			①	近森 遠平		岩崎幾太郎組上等	4.36(明治4年)	9			徳山村辻		
										(明治5年22歳 分限帳)			
近森家			①	近森 貞吉	定吉			9					
										(明治5年51歳 分限帳)			
	近森貞吉	嗣子	②	近森 喜市		小人	4.36(明治4年)	9			徳山村西沖原		
										(明治5年27歳 分限帳)			
	近森喜市	嫡子	○	近森 利平	利兵衛			—					
										(明治5年3歳 分限帳)			
近森家			○	近森 喜次右衛門	亮満道仙居士			8				徳山・福田寺(R4)	
										1824 文政7年9月18日	妻・壽岳妙栄大姉明治3年卒		
近森家			①	近森 北右衛門	洞岳道雲居士			8~9	77	(明治5年74歳 分限帳)	徳山村辻	徳山・福田寺(R4)	
										1874 明治7年9月20日	妻花室妙香大姉天保4年2月25日卒		
	近森北右衛門	嗣子	②	近森 谷蔵		煮方	3.35(明治4年)	9			徳山村辻		
										(明治5年39歳 分限帳)			
	近森谷蔵	嫡子	○	近森 儀作				9			徳山村辻		
										(明治5年6歳 分限帳)			
近森家			①	近森 瀧左衛門			3(明治4年)	9			徳山村辻	徳山・福田寺(R3)	
										(明治5年40歳 分限帳)	妻・安窓慧心大姉明治3年4月9日卒		
	近森瀧左衛門	長男	○	近森 浅次郎				9			徳山村辻		
										(明治5年8歳 分限帳)			
	近森瀧左衛門	二男	—	近森 武一				—			徳山村辻		
										(明治5年4歳 分限帳)			
近森家			○	近森 甫	心源徹照居士			—				徳山・福田寺(R3)	
										(墓碑刻印無し)	妻・霊光自照大姉大正13年8月6日卒		
千本家			①	千本 瀧蔵				9					
										(明治3年57歳 人員録)			
	千本瀧蔵		②	千本 清作		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9			徳山村辻		
										(明治5年22歳 分限帳)			
			○	千本 宗次	→山縣清次と改名	山崎隊		9			徳山村辻		[註4]
													[山崎隊日記]
築田屋			○	築田屋 嘉三郎		町人		8			福川町		[註4]
											百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		
(福嶋家) 筑山家	星野新左衛門	*	○	福嶋 政則	左衛門太夫			—			先祖信州福島居住		[譜]
	福嶋常陸介政武女												
	福嶋政則	嫡子	○	福嶋 忠勝	備後守			—					[譜]
	福嶋忠勝	嫡子	○	福嶋 政義	清閑入道			—					[譜]
	福嶋忠勝	*三男	①	福島屋 定直	勘右衛門 政直 伊勢松 正号	立売(寛永18年)	不詳	1	49	1618 元和4年	芸州生京都浪人大阪江戸堀		[譜]
	京都橘氏									1666 寛文6年2月7日	於江戸堀立売/慶安年中出仕屋敷買上/寛文5年隠居		
	福島屋定直	嫡子	②	福島屋 清政	小右衛門 太郎一 太市一 万治		不詳	1	26	1645 正保2年	大阪江戸堀生		[譜]
	和田泰庵妹									1670 寛文10年7月15日	寛文5年家督		
	福島屋瀬郎	*	③	筑山 吉政	瀬郎 次郎左衛門 次郎兵衛	御家守役	不詳	1					[譜]
	某女									1673 延宝元年7月5日	寛文10年8月10日家督		
	和田泰庵	*	④	筑山 是政	六右衛門 六郎	御家守役	不詳	1~2					[譜]
	福嶋兵部武正女									1687 貞享4年10月12日	延宝元年7月15日家督		
	筑山是正	二男	⑤ 断絶	筑山 長政	平右衛門 勘之助 長當 和多屋亀右衛門 玄又入道	御家守役	不詳	2~3					[譜]
	福島勘右衛門定直女									1730 享保15年8月21日	貞享4年家督/元禄14年6月断絶/正徳2年隠居		
	伊賀国上野筑山久兵衛	*	⑥	筑山 政英	善六 和多屋	御家守役	15三扶持	3~5			大阪山本町屋敷		[譜][註4]
	伊賀国上野横山氏									1744 延享元年10月11日	正徳2年養子/御家再興勅享保4年9月15日再興/寛保2年隠居		
	筑山政英	二男	⑦	筑山 正盈	卯右衛門 善次郎	大阪在身	15三扶持	5~7	67	1720 享保5年9月朔日			[譜]
	筑山長政女									1786 天明6年6月17日	寛保2年8月25日家督/天明2年12月28日隠居		
	大阪長堀名張十右衛門	*	⑧	筑山 正房	清左衛門 十次郎 (妻難波御蔵内米津又三郎高徳妹)	大阪在身	15三扶持	7~		1742 寛保2年5月16日	大阪長堀生		[譜]
	筑山正盈妹										安永7年養子/天明2年家督		
			⑨	筑山 弥五兵衛		大阪在身	15三扶持	8					[譜][註4]
											周防国都濃郡徳山絵図文化5年写蔵/天保10年改正		(文化5年譜録提出)
			○	筑山 政之進		大阪在身	切15三扶持	9					[註4]
			○	筑山 正義 ☆	亀之進	大阪在身	15三扶持	9					[註4]
										(明治3年23歳 人員録)			
			○	筑山 郡平		大阪在身	4.7	9					
										(明治4年 分限帳)			
中国屋			○	中国屋 勘右衛門		町人		9					[註4]
											元制産方金銭請払[明治7年谷城礼蔵 徳山毛利家文庫]		
重源			○	重源	俊乗坊	僧侶/東大寺大勧進 国司(都濃郡)阿弥陀寺創建		鎌倉					[註1]
											遠石八幡宮再建/地頭の押妨を抑え開地/重源の郷(徳地)		

辻家断			断絶	辻 新平		蔵本付	15	不明						[註4]
津田家			○	津田 忠兵衛		御貸付役人(寛文12年)		1						[註4]
津田家断			断絶	津田 太郎右衛門			20	1						[註4]
津田家			○	津田 忠道	源太夫			1~3						[増野家譜録]
	浅江村吉原源左衛門	＊長男	○	津田 政治	(吉原家→増野家→津田家→増野家)			3				元禄9年8月4日津田源太夫忠道養子宝永3年離縁増野家へ		[増野家譜録]
津田家	下松村津田善左衛門忠秋	長男	①	津田 忠善	善右衛門 幸右衛門	徒士	20	3~5	80			東中町東側自北8番西向		[譜][註4]
	岡武右衛門宗増姉									1739	元文4年6月3日	下松村出生江戸浪人後元禄16年出仕/享保12年隠居		
	三尾村青山市右衛門	＊二男	②	津田 忠泰	善左衛門 権太夫	徒士 御部屋御台所算用役	20	5	40余				江戸死去	[譜]
	某女									1745	延享2年7月13日	享保12年家督		
	津田忠泰	長男	③	津田 忠昌	善七	徒士	20	5~7	33					[譜]
	河内村農民七兵衛女									1769	明和6年3月4日	延享2年家督		
	河内村農民七蔵倅	＊	④	津田 忠胤	幸助	徒士	20	7						[譜]
	某女											秩香幼少に付明和7年中継家督/安永8年3月7日隠居		
	津田忠昌	＊長男	⑤	津田 秩香	栄次郎 昌守	徒士/算用役(享和・文化)	20	7~8	59					[譜][註4]
	東豊井村喜四郎女									1826	文政9年11月2日	安永8年家督		
	津田秩香	長男	⑥	津田 昌則	茂七 長之進	徒士	20	8~9						[譜]
	高木六右衛門信門女											文政9年12月23日家督/天保9年12月26日押込隠居		
	津田秩香	三男	一	津田 信敏	→高木信敏	盗賊方家中早廻(天保2年) 徒士	20	8~9				西下丁東側自北4番		[譜][註4]
	高木六右衛門信門女											天保2年高木信一跡家督		
	津田秩香	四男	一	津田 某		福田寺弟子		8						[譜]
	高木六右衛門信門女											天保元年10月15日福田寺弟子願		
	津田秩香	五男	一	津田 某		福田寺弟子		8						[譜]
	高木六右衛門信門女											文政10年2月23日福田寺弟子願		
	津田秩香	＊六男	⑦	津田 昌美	昌守 季七郎 栄五郎	徒士	20	9				二番丁		[譜][註4]
	高木六右衛門信門女										(明治4年48歳 分限帳)	天保10年2月20日家督/嘉永2年譜録制作		
		＊	⑧	津田 久之丞			5.7(明治5年)	9			(明治4年35歳 分限帳)	明治3年譜録提出		[譜][註4]
津田家			○	津田 八十吉		都濃郡第1区副戸長 (明治4年住農)		9				戸田村		[註4]
			○	津田 弥一		戸田村湯野村米改良組頭取 (明治19年)		9				戸田村		[註4]
土田家			○	土田 清左衛門		庄屋		8				大道理村		
												文化3年大道理村小社堂御尋付立		[防長寺社由来]
坪井家断			断絶	坪井 市兵衛			20	1						[註4]
坪屋			○	坪屋 八十郎	津保屋	酒造業		7				須万村		[註4]
津本家	津本清吾	長男	○	津本 柳塘	柳処 庄兵衛 吐墨庵 得山居士	絵師 (上田田単に師事)		9	86	1854	安政元年	徳山夕顔町		[註8][有田民雄蔵画帳/翰墨一架]
										1939	昭和14年2月13日	//「百卉含英」宮内省買上/書画中央図書館蔵＊絵画福田寺蔵		＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
津森家			○	津森 某	白峯宗雪信士			5				徳山村風呂ヶ迫	泉原共同墓地(R5)	
										1753	宝暦3年12月20日	妻林雪妙光信女享保17年11月25日卒		
			○	津森 勘左衛門	感譽壽應信士			~8				徳山村風呂ヶ迫	泉原共同墓地(R5)	
										1818	文化15年正月晦日	妻應譽妙瑞信女文化2年9月2日卒		
			○	津森 清左衛門	圓譽照應信士			8				徳山村風呂ヶ迫	泉原共同墓地(R5)	
										1836	天保7年4月21日	妻應譽妙照信女天保8年8月11日卒		
			—	津森 忠治郎	涼清童子			8				徳山村風呂ヶ迫	泉原共同墓地(R5)	
										1827	文政10年閏6月23日			
			○	津森 勘六	聲譽常念信士			~9				徳山村風呂ヶ迫	泉原共同墓地(R5)	
										1840	天保11年9月23日	妻常譽妙念信女安政元年9月4日卒		
			○	津森 勘左衛門	二代目勘左衛門 澄譽自謙信士			9				徳山村風呂ヶ迫	泉原共同墓地(R5)	
										1887	明治20年9月朔日	梅譽妙香信女明治33年3月9日卒		[明治2年安野保五郎制作地図]
			—	津森 金助	達譽通光信士			9				徳山村風呂ヶ迫	泉原共同墓地(R5)	
										1867	慶応3年9月7日			
			○	津森 豊吉	豊譽和順信士/妻栄譽妙昌信女			—				徳山村風呂ヶ迫	泉原共同墓地(R5)	
										1919	大正8年8月10日	同墓碑露幻孩女明治31年3月11日卒		
			○	津森 政一				—					泉原共同墓地(R5)	
												昭和40年1月津森家之墓建立		
			○	津森 敏伸		俳人		—				周南市清水町		
												『草炎』同人		
津森家			①	津森 森右衛門		河合組下等		9						
											(明治3年42歳 人員録)			
津森家			○	津森 嘉吉				9				徳山村舞車		
														[明治2年安野保五郎制作地図]

津森家			①	津森 嘉兵衛		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治5年)	9				徳山村舞車		
											(明治5年29歳 分限帳)			
			—	津森 長三	長三郎 津森嘉兵衛弟			9						
											(明治5年19歳 分限帳)			
鶴岡家			○	鶴岡 四郎兵衛		宮ノ原権現大願主		1				須万村		
												寛文9年年須万村宮ノ原権現棟札		[防長寺社由来]
			○	鶴岡 杢左衛門		亀山八幡宮神主 後、大阪表用達商人		1~2				須万村後大阪移住		[註1]
											楮の領外搬出禁止にも拘わらず阿波国へ。阿波国主より扶持を給す(天和年中[註1P528])			[防長寺社由来/寛永18正保3]
			○	鶴岡 重兵衛		亀山八幡宮神主		2~				須万村		[註1]
												杢左衛門の後任		
鶴岡家			○	鶴岡 五郎左衛門		庄屋		8				須万村		[註1]
												紙漉きの功により倅代まで庄屋格に昇進(文化5年)		
鶴岡家			○	鶴岡 友蔵		都濃郡第8区戸長 (明治4年庄屋)		9				須万村		[註4]
靏岡家断			断絶	靏岡 五郎左衛門		蔵本付	15	3						[註4]
鶴屋			○	鶴屋 吉左衛門		酒造業		7				戸田村		[註4]
手嶋家			①	手嶋 作蔵		河合組下等	1.8(明治4年)	9				徳山村河原		
											(明治5年51歳 分限帳)			
	手嶋作蔵	嫡子	○	手嶋 彦蔵				9						
											(明治5年6歳 分限帳)			
豊島家(テシマ)			①	豊島 嘉兵衛				—						
	豊島嘉兵衛	嗣子	②	豊島 嘉兵衛				—						
	豊島嘉兵衛	嗣子	③	豊島 熊蔵				—						
	豊島熊蔵	嗣子	④	豊島 武兵衛	嘉兵衛			—						
	原田初代新蔵	＊三男	⑤	豊島 嘉兵衛	原田嘉兵衛 (遠石石田金兵衛四女妻コト)	舶来物品/唐端物商 多田屋/村会議員		9				糀町		[註1][註4][註9]
										1901	明治34年	明治の徳山の豪商/共栄汽船創立者の一人/安政元年家督		[府君原田三郎とその周辺]
	兼清常吉	＊五男	⑥	豊島 勝蔵	吸江 (娘ヒサ、チヨ、ウタ、ヨシ)	町会議員議長/雑貨商 徳山製糸場/瓦斯会社創立		9	80余	1863	文久3年	糀町		[註1][註4][註9][註14]
												明治23年9月16日養子/漢詩井上快雪師事/共栄汽船創立委員		[府君原田三郎と・・][輪墨一架]
	豊島勝蔵 豊島嘉兵衛長女ナツ	長男	⑦	豊島 専一	伝一	富田自動車社長 後徳山自動車専務		—						
												徳山小売市場専務理事		[府君原田三郎とその周辺]
	豊島勝蔵 豊島嘉兵衛長女ナツ	二男	—	豊島 豊	実叔母キミ生野恵太郎夫妻養子	東京帝大法科/鈴木商店 養家生野酒造/官選弁護士		—						
														[府君原田三郎とその周辺]
	豊島勝蔵 豊島嘉兵衛長女ナツ	三男	—	豊島 三郎	→原田三郎	徳山中学/東京帝国大学 酒造業		—	85	1896	明治29年5月24日	小沢町(現飯島町)		
										1980	昭和55年3月10日	昭和3年原田酒場、同29年初紅葉酒造株設立		[府君原田三郎とその周辺]
	豊島勝蔵 豊島嘉兵衛長女ナツ	四男	—	豊島 嘉造		電力局開発部長(昭和25年)		—						
														[府君原田三郎とその周辺]
	豊島勝蔵 豊島嘉兵衛長女ナツ	七男	—	豊島 十郎	→梅地十郎	徳山中学/福岡高/東京帝大 国策パルプ		—		1911	明治44年	糀町多田屋生・サンパウロ		
												ブラジルサンパウロに移住/岐山会報に寄稿		[府君原田三郎とその周辺]
	豊島専一 防府時政	長男	—	豊島 真一		若年戦没		—						
														[府君原田三郎とその周辺]
	豊島専一 防府時政	二男	⑧	豊島 清		陸軍士官学校		—						
												私家本『心の宝武士道写』/ブーゲンビル島の戦闘		[府君原田三郎とその周辺]
			○	豊島 政五郎		徳山商法会所頭取(明治4)		9						[註1][註4][註14]
出増家			①	出増 機作		岩崎幾太郎組上等	4.7(明治4年)	9						
											(明治4年22歳 分限帳)			
			—	出増 良吉	出増機作弟			9						
											(明治4年16歳 分限帳)			
寺崎家			○	寺崎 倉吉		山崎隊(報知方)		9						[註4]
														[山崎隊日記]
寺田家	寺田某 岩国某女	二男	①	寺田 良行	貞右衛門	徒士	20	3~5	65			東端丁自北12番東向		[譜][註4]
										1728	享保13年4月11日	元禄14年8月12日出仕/享保12年隠居		
	萩領浪人水田某女 三田尻中村某	＊	②	寺田 貞宗	七左衛門	徒士	20	5	49					[譜]
										1735	享保20年5月9日			
	寺田貞宗 萩領桜井某女	長男	③	寺田 景休	源太夫 萬槌 七左衛門	徒士/下代役(天明6年)	20	5~7	64					[譜][註4]
										1787	天明7年7月22日			
	寺田景休 東豊井村橋本半兵衛女	長男	④	寺田 貞褒	辰之進 光助 源之進	徒士	20	7~8	61					[譜][註4]
										1824	文政7年3月8日	天明7年9月15日家督		
	寺田貞褒 温見村田村文右衛門女	長男	⑤	寺田 昌甫	源之丞 七三郎	徒士	20	8	34				大迫田金剛寺(R1)	[譜][註4]
										1836	天保7年8月7日	文政3年12月5日家督		
	寺田貞褒 温見村田村文右衛門女	＊二男	⑥	寺田 敦恒	光左衛門 萬槌 栄次 信近 源太夫 貞房 →長野信近	徒士	20	9				一番丁		[譜][註4]
												天保9年家督/長野信敏養子昌甫死亡の為実家へ戻る		

寺田家	寺田敦恒 引頭清七有常女	長男	⑦	寺田 猷脩	米兵衛	徒士	20	9		1863	文久3年		大迫田金剛寺(H30)	[譜]
	寺田敦恒 引頭清七有常女	二男	一	寺田 貞風	建吉			9						[譜]
	寺田敦恒 引頭清七有常女	三男	別家①	寺田 久包 ☆	清栄 貞銭 三郎	陣僧 山崎隊(函館戦長官)	切11	9			万延元年覚[譜]		徳山・泉原共同墓地(R2)	[譜][註4][註16] [山崎隊日記]
	寺田敦恒 引頭清七有常女	＊四男	別家②	寺田 熊太郎	(兼崎昌司一時養子)	下士下等/山崎隊	11→4.7(M4)	9		(明治4年23歳 分限帳)				[譜][註4][註16]
			⑧	寺田 良輔	眞風	中士下等 山崎隊参謀[防長回天史]	25→7.1(M4)	9		(明治4年28歳 分限帳)	藩知事時代正権大属/明治3年譜録提出			[譜][註4][註16] [山崎隊日記]
			○	寺田 絢 ☆	七左衛門			9						[註4]
寺本家			①	寺本 実右衛門			3.35(明治4年)	9		(明治5年40歳 分限帳)	徳山村代々小路			
	寺本実右衛門	嫡子	○	寺本 岩槌				9		(明治5年7歳 分限帳)				
			一	寺本 □蔵	寺本実右衛門弟			9		(明治5年32歳 分限帳)				
土井屋			○	土井屋 新蔵		預り札責任者(文政2年) 酒造業(天明年間)		7~8			徳山村 藩へ上納銀、借銀の債主として記載あり(天保末年現在)			[註1][註4]
道源家			①	道源 九郎右衛門	＊開祖因幡守義房	中世毛利氏家臣鍛治職		—			備後国三吉郡八次村 因幡守天正2年			[譜] [道源家文書/県文書館]
		嗣子	②	道源 善右衛門	彌六			—			備後国三吉郡八次村 因幡守慶長12年			[譜]
		嗣子	③	道源 善右衛門	＊伊豆守叙重 ＊称雲寺殿心獄宗無居士			1~			就隆公従富田村平野移住 伊豆守寛永9年/＊家碑明治37年250回忌14代権次誌			[譜] ＊[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
		嗣子	④	道源 平兵衛				1~			富田村平野			[譜]
	道源平兵衛	嗣子	⑤	道源 仁兵衛			苗字屋号 正徳5年	3			富田村平野 正徳5年7月町人百姓苗字禁止令、道源許される			[譜]
		嗣子	⑥	道源 平右衛門		農民		3~			富田村平野 徳山藩再興功労者[註1]			[譜][註1]
	道源平右衛門	嗣子	⑦	道源 仁兵衛				5頃			富田村平野			[譜]
	道源仁兵衛	嗣子	⑧	道源 庄八		酒造業		5~7			富田政所移住 宝暦7年			[譜][註4]
	道源庄八	嗣子	⑨	道源 清七		富田政所酒商/庄屋		~8			富田村			[譜]
	道源清七 徳山町熊谷喜左衛門女	長男	⑩①	道源 義房	富之助	蔵本付		8	60	1842	天保13年6月14日	富田村 天保5年3月17日出仕初代/天保8年隠居義陳家督		[譜][註4]
	熊谷某女	＊	⑪②	道源 義陳	常吉	蔵本付/永代庄屋	切5	9	76	1803 1878	享和3年7月 明治11年4月	富田村 天保の飢饉民を助ける/山崎八幡宮に大灯籠献納		[註1][註11][都濃郡誌] [譜嘉永2年提出]
	道源義房 富田村椎木孫兵衛女	＊長男	⑫③	道源 義方	友蔵	蔵本付	25→5.7(M4年)	9		(明治4年51歳 分限帳)	富田村 天保9年5月義陳養子			[譜] [翰墨一架]
	道源義房 富田村椎木孫兵衛女	二男	一	道源 佐吉				9		(明治4年48歳 分限帳)				[譜]
			一	道源 □□之介	道源友蔵弟[分限帳]			9		(明治4年24歳 分限帳)				
	道源友蔵義方 道源幸子	嗣子	⑬④	道源 岩太郎		道源銀行設立(明治30年)		9		(明治4年28歳 分限帳)	富田村 明治23年貴族院多額納税者[山口県報]			[註4]
	岩崎惣輔	＊二男	⑭⑤	道源 権治		道源銀行経営/道源開作 村長/県議/貴族院議員		—	89	1869 1957	明治2年1月16日 昭和32年12月7日	富田政所/徳山別邸潮雲荘 「五卿登陸處」石碑建立/大正7年貴族院多額納税者[山口県報]		[翰墨一架][菊川のむかしむかし]
	道源権治 道源うめ子	長男	⑮⑥	道源 秀補		東京帝大農科 昭和商会(徳山)		—						[府君原田三郎とその周辺]
道源家			○	道源 清八		道源開作	82反(天明4年)	7			富田村			[註1]
道源家			○	道源 喜右衛門	＊夏山道林信士			~3		1695	＊元禄8年6月19日		＊徳山・無量寺	＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
道源家			○	道源 武左衛門	下記の武左衛門と年齢に相違	長浜組		8			徳山浦開作築立(天保2年)			[註1]
道源家			①	道源 武左衛門	小林尚稟養育			9		(明治3年42歳 人員録)				
			○	道源 岩之助	小林尚稟養育			9		(明治3年12歳 人員録)				
道源家			①	道源 北右衛門		政務局支配		9		(明治4年66歳 分限帳)				
	道源北右衛門	嗣子	②	道源 十内		岩崎幾太郎組上等	4.7(明治4年)	9		(明治4年39歳 分限帳)				

道源家			①	道源 要左衛門		岩崎幾太郎組上等	4.7(明治4年)	9				徳山村新町		
											(明治5年38歳 分限帳)			
道源家			①	道源 鉄蔵		岩崎幾太郎組上等	4.36(明治4年)	9				徳山村代々小路	墓碑徹蔵・無量寺(H30)	
											(明治5年28歳 分限帳)			
			○	道源 周平				—						
												道源家累世之墓建立無量寺		
富樫家			①	富樫 幸左衛門				9						
											(明治4年59歳 分限帳)			
	富樫幸左衛門	嗣子	②	富樫 愛之助				9						
											(明治4年31歳 分限帳)			
	富樫愛之助	嗣子	③	富樫 範三郎	範次郎(旧士族分限帳)	上士鳥羽鎚之丞家来	15→4.7(M4)	9						
											(明治4年18歳 分限帳)			
富樫家			○	富樫 佐		寺小屋(読書/習字)		9				徳山村		[註1][註5][註14]
												慶応元年8月～明治5年7月寺小屋男79女32		[徳山市教育の歩み]
戸川屋			○	戸川屋 定次郎		町人		9						[註4]
												土器焼立運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		
時重家断			①	時重 貞久	太郎兵衛	蔵本付	15	3~5						[譜][註4]
	富海村某女									1722	享保7年8月7日	御奉公以前御家微賤召仕/元禄15年出仕		
	時重貞久	長男	②	時重 信顕	太郎兵衛	蔵本付	15	~5						[譜]
	富海村作太夫女									1736	元文元年2月23日	某年家督		
	村瀬源左衛門富茂	＊長男	③	時重 一知	太郎兵衛	蔵本付	15	5~						[譜]
	渡邊某女											某年家督		
	時重一知	長男	④	時重 信住	卯兵衛	蔵本付	15	~7	43					[譜]
	時重信顕女									1785	天明5年8月9日	某年家督		
	瀬戸村市左衛門	＊長男	⑤	時重 伊良	孫四郎	蔵本付	15	7~8	52					[譜][註4]
	飯田平左衛門女									1811	文化8年7月8日	天明5年12月朔日家督		
	時重伊良	長男	⑥	時重 正敬	房五郎	蔵本付	15	8~9						[譜]
	松浦五右衛門女											文化8年12月朔日家督/文化12年譜録提出		
時重家	長州藩士時重音次郎	長男	○	時重 初熊	有馬 乳軒 青軒	獣医学博士	正四位	宗藩	55	1859	安政6年11月28日	戸田村生まれ	戸田焉ヶ迫墓地墓誌銘有	[註10][註11]
	坂田某女				(妻原田某女)	駒場農学校教授				1913	大正2年4月19日	ドイツ留学/畜産界に貢献		
時高家			○	時高 式部少		須万村八幡宮祠官		1				須万村		
												寛文9年須万村宮ノ原権現棟札		[防長寺社由来]
時高家			○	時高 治右衛門尉		須万村八幡宮施主		1				須万村		
												寛永18年須万村八幡宮及び亀山八幡宮棟札		[防長寺社由来]
時高家			○	時高 治部大夫		須万村八幡宮施主		1				須万村		
												寛永18年須万村八幡宮棟札		[防長寺社由来]
時高家			○	時高 九郎右衛門		宮ノ原権現大願主		1				須万村		
												寛文9年須万村宮ノ原権現棟札		[防長寺社由来]
時高家			○	時高 佐左衛門		宮ノ原権現大願主		1				須万村		
												寛文9年須万村宮ノ原権現棟札		[防長寺社由来]
時高家			○	時高 吉郎右衛門				3				須万村		
												観音寺鐘撞堂建立施主(宝永4年)		[防長寺社由来]
時高家			○	時高 求馬				3				須万村		
												『須磨 秘密尾権現縁記』宝永8年3月写		[防長寺社由来]
時高家			○	時高 粂七		農民		3頃				須万村		[安田家譜録]
時高家			○	時高 正賀		養蚕製糸技術習得者	士族	9						[註1]
						(明治18年)								
常盤屋			○	常盤屋 台助		町人		9						[註4]
												筑前目薬運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		
徳応寺			①	宗覚法印	→赤松家	徳応寺開基		1				播州明石		[註8]
										1608	慶長13年3月1日			[防長寺社由来7]
徳田家断			断絶	徳田 一伸			11	1						[註4]
徳原家			①	徳原 彦蔵		傘	4.36(明治4年)	9				徳山村今宿		
											(明治5年39歳 分限帳)			
徳原家			①	徳原 佐吉			1.8(明治4年)	9				上村水上	大迫田金剛寺(H30)	
											(歳不明 分限帳)			
徳原家			①	徳原 唯雄			1.8(明治4年)	9				上村		
											(歳不明 分限帳)			
徳原家			○	徳原 清七		町人		8~9						[註1]
												藩へ上納銀、借銀の債主として記載あり(天保末年現在)		
			①	戸倉 正為	猪八 猪右衛門	蔵本付/具足師	13二扶持	7	73					[譜][註4]
	徳山村兼重五兵衛									1835	天保6年12月11日	奉公以前富山要人家来/寛政6年出仕		
	戸倉正為	長男	②	戸倉 正幸	正度 常五郎	蔵本付	切15銀三枚	8~9						[譜][註4]
	徳山村戸倉紋七女											天保6年家督		
	戸倉猪八正為	二男	—	戸倉 虎	→野村虎	蔵本付	15	8~9	38					[譜]
	竹下玄達女									1840	天保11年2月29日	天保3年野村直温跡家督		
戸倉家														

戸倉家	戸倉正幸 黒川九郎祐通女	二男	—	戸倉 正利	辰次郎			9			（明治4年39歳 分限帳）			[譜]
	戸倉正幸 黒川九郎祐通女	三男	—	戸倉 忠為	九吉郎			9		1862	文久2年8月7日	国事奔走攘夷勤王計画中京都にて病死[註8]		[譜][註8]
	戸倉正幸 黒川九郎祐通女	四男	③	戸倉 正忠 ☆	又三郎	下士下等	15銀三枚→4.7	9			（明治4年28歳 分限帳）	明治3年譜録提出		[譜][註4]
戸倉家			①	戸倉 亀吉		上士粟屋栄人家来		9			（明治3年27歳 人員録）			
戸倉家			①	戸倉 精司		上士福間蕃雄家来		9			（明治3年37歳 人員録）			
	戸倉精司	嫡子	○	戸倉 喜三郎				9			（明治3年4歳 人員録）			
戸倉家			①	戸倉 衛蔵		河合組上等 初代村会収入役(明治22年)	4.7(明治4年)	9			（明治5年34歳 分限帳）	徳山村今宿		[註1]
戸倉家			①	戸倉 太兵衛		河合組上等	4.36(明治4年)	9			（明治5年29歳 分限帳）	徳山村今宿		
戸倉家			①	戸倉 満助		河合組上等	4.36(明治4年)	9			（明治5年21歳 分限帳）	徳山村今宿		
戸倉家			①	戸倉 豊吉		箱	4.36(明治4年)	9			（明治5年37歳 分限帳）	徳山村吉屋町		
	戸倉豊吉	嫡子	○	戸倉 亀吉				9			（明治5年6歳 分限帳）			
戸倉家			①	戸倉 伴右衛門			4.36(明治4年)	9			（明治5年49歳 分限帳）	徳山村新町		
	戸倉伴右衛門	嫡子	○	戸倉 丈之進				—			（明治5年2歳 分限帳）			
戸倉家			①	戸倉 太郎			3.6(明治4年)	9			（歳不明 分限帳）	上村		
戸倉家			①	戸倉 浦右衛門		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9			（明治5年40歳 分限帳）	徳山村岡田原		
	戸倉浦右衛門	長男	○	戸倉 米熊				—			（明治5年4歳 分限帳）			
	戸倉浦右衛門	二男	—	戸倉 馬次郎				—			（明治5年1歳 分限帳）			
戸倉家			①	戸倉 次郎		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9			（明治3年20歳 人員録）	上村		
戸倉家			①	戸倉 柳右衛門		煮方	3.35(明治4年)	9			（明治5年42歳 分限帳）	徳山村辻		
	戸倉柳右衛門	長男	○	戸倉 久治郎				9			（明治5年14歳 分限帳）			
	戸倉柳右衛門	二男	—	戸倉 友蔵				9			（明治5年9歳 分限帳）			
	戸倉柳右衛門	三男	—	戸倉 俊蔵				—			（明治5年5歳 分限帳）			
	戸倉久次郎	三男	○	戸倉 均		下松工業高校/東上砂利		—		1906	明治39年11月5日			[註10]
	戸倉均 群馬永岡庄八長女てる	長男	○	戸倉 繁	（妻大映取締中泉雄光二女百合江）	慶応義塾大/東映		—		1932	昭和7年9月			[註10]
戸倉家			①	戸倉 駒太			1.8(明治4年)	9			（歳不明 分限帳）	上村		
戸倉家			①	戸倉 徹兵衛		政務局支配	1.8(明治4年)	9			（明治5年73歳 分限帳）	徳山村辻		
戸倉家			○	戸倉 文右衛門				2				上村 元禄2年富田上村中山観音堂釣鐘寄進施主		[防長寺社由来]
戸倉家			○	戸倉 義徳	盛義兄			—				加見村字上村		[註4]
			○	戸倉 盛義	太一郎	山崎隊/農民		9	20	1869	明治2年4月11日	都濃郡中山村 函館戦争茂草村の役戦死	桧山護国神社・永源山	[註4][註5][註8][註10]
戸倉家			○	戸倉 藤兵衛		上村組(上村他)戸長 (明治12年、17年記録有)		9				都濃郡上村		[註4]
戸倉家			○	戸倉 又右衛門		町人		8~9				藩へ上納銀、借銀の債主として記載あり(天保末年現在)		[註1]
戸蔵家断			断絶	戸蔵 甚兵衛		蔵本付	15	3						[註4]
戸倉屋			○	戸倉屋 幸助		町人		8				柳ケ浜 福川浦江御尋諸漁名目(徳山毛利文庫 文政元年)		[註4]
			○	佐田 高慶	四郎兵衛							天文年中迄芸州壁、石州大林両地知行 大林、綾部、佐田正保年中戸田改姓		[譜]

戸田家	佐田四郎兵衛高慶 渡邊源右衛門正貞女	二男	①	戸田 道安	仁左衛門	中小姓	25	1~3	76			西町西側自北4番 寛永年中下松出仕後流浪/延宝8年徳山出仕/貞享4年病		[譜][註1]
										1692	元禄5年7月晦日			
	浅井平兵衛茂興 国富総左衛門連久女	＊二男	②	戸田 茂貞	佐右衛門 一平 佐二右衛門 逸平 綾部一歩 吉弘嘉右衛門弟	中小姓 （享保2年~元文3年浪人）	25	2~5	78			下東横町北側自西1番 宗藩より追放、脱走、徳山藩再興最大級功労者五烈士		[譜][註1][註4][註14]
										1746	延享3年正月5日			
	戸田茂貞 戸田道安女	二男	③	戸田 安貞	仁左衛門 吉三郎 音助 大林音助	馬廻 （享保2年~元文3年浪人）	十扶持	3~5	63					[譜][註1][註14]
										1754	宝暦4年6月2日	宗藩より追放、脱走、徳山藩再興最大級功労者五烈士		
	戸田茂貞 戸田道安女	三男	—	戸田 吉弥		大成寺弟子（宝永3年）								[譜]
	荘原正右衛門信成 堀田孫一郎正敷姉	＊二男	④	戸田 貞教	忠蔵 信道 久五郎	馬廻 須万村代官（安永7年1778）	50	5~7						[譜][註1]
												寛延3年戸田安貞養子/宝暦2年家督/須万村の風俗改革功績あり		
	戸田貞教 石原某女	二男	⑤	戸田 安致	藤九郎 安八郎 佐右衛門	馬廻	50	7~9	81					[譜][註4]
										1849	嘉永2年9月24日	寛政10年5月17日家督/天保11年隠居		
	戸田安致 山本東庵有實女	長男	⑥	戸田 安整	寅蔵 冨太 佐吉郎 道貞 仁左衛門 （妻大島居守天満宮古本主馬佑清女）	馬廻後中士上等 起倒流柔術/無方流槍術師範	50→14.1（M4）	9	71	（明治4年55歳 分限帳）		徳山村中ノ丁	大成寺共同墓地（H30）	[譜][註1][註4][註5][註8]
										1887	明治20年4月25日	天保11年家督/碑文は青木忠蔵挙撰/元治元年譜録提出		
	戸田安致 山本東庵有實女	二男	—	戸田 正経☆	→箱嶋正経	中士上等	50	9	62	（明治4年44歳 分限帳）		西ノ丁	大迫田金剛寺（H30）	[譜][註4]
										1889	明治22年10月30日	嘉永3年箱嶋堇吾正堇養子		
	戸田安整	嗣子	⑦	戸田 昂蔵	厚蔵[註16]			9					東山（大成寺）[註16]	
										（明治4年31歳 分限帳）				
			○	戸田 綽	号桐□ 本姓坂本（墓碑文より）	従七位陸軍中尉		—					大成寺共同墓地（H30）	
			○	戸田 周之				—				周東町		
												『徳山市史上』に史料提供		
十時家			○	十時 宗朴		町医師		3						[註1]
												改易時、百姓一揆計画を萩藩へ密告[隠秘録]		
鳥羽家	左京太夫	嗣子	○	肥後守	肥後守			大友						[譜]
										1578	天正6年11月12日	豊薩合戦（天正の役）討死		
	肥後守	嗣子	○	鳥羽 統直	阿波守			—						[譜]
												天正6年鳥羽氏と改称/文禄2年防州居住		
	鳥羽統直	嗣子	○	鳥羽 次直	新右衛門 究竟院殿良禎日為居士			—					大迫田本正寺（H30）	[譜]
										1654	承応3年5月25日			
	鳥羽新左衛門次直 某女	二男	①	鳥羽 隆直	左京 左源太	家老	500	1~3	81	1624	年令~逆算	上本町西側自北1番東向	大迫田本正寺一族あり	[譜]
										1704	宝永元年8月6日	寛永15年15歳召仕/延宝8年3月26日隠居		
	鳥羽隆直 河田彦右衛門隆政女	長男	②	鳥羽 隆安	主膳 万槌	家老	350	~2	35				大迫田本正寺一族あり	[譜]
										1687	貞享4年8月19日	妻楓林院妙□孤月杏茶大姉元禄2年9月16日卒興元寺		
	鳥羽隆直 河田彦右衛門隆政女	二男	—	鳥羽 正恭	源右衛門 左源太 （芸州森甚右衛門養子）			芸藩						[譜]
												某年芸州森甚右衛門養子		
	鳥羽隆直 河田彦右衛門隆政女	三男	—	鳥羽 直昌	千熊 三郎左衛門	新知別家/馬廻	150	2						[譜][註4]
												貞享2年4月20日別家/断絶		
	鳥羽隆安 粟屋圭隆長女	長男	③	鳥羽 次長	図書 左太郎 政之助 左京	家老	300 改易後萩寄組350	2~5	78				大迫田本正寺（H30）	[譜][註1][註4]
										1755	宝暦5年9月19日	貞享2年家督/阿武町沖大島流罪		
	鳥羽隆安 粟屋圭隆長女	二男	—	鳥羽 経定	→①鳥羽経定	新知別家/馬廻	50	3~5						[譜][註4]
										1752	宝暦2年5月2日	元禄12年7月23日別家		
	鳥羽次長 木村小三郎女	長男	④	鳥羽 堯清	衛士 佐太郎 政之助	家老/当職	200	5~7	81			大道理村/富田村平野被仰付	大迫田本正寺（H30）	[譜][註1]
										1785	天明5年7月14日	享保4年6月24日家督/五代広豊の当職		
	鳥羽堯清 木村小三郎女	長男	⑤	鳥羽 寛直	玄蕃 直種 政之進 図書	家老/当職	400	5~7	52			大藤谷村被仰付	大迫田本正寺（H30）	[譜][註1]
												寛延元年12月6日家督/天明3年隠居/七代就馴の当職		
	鳥羽寛直 山口正福寺義鳳女	長男	⑥	鳥羽 馴茂	静馬 種茂 左市郎 右京	家老/当職	400	7~8	71				大迫田本正寺（H30）	[譜][註1][註4]
										1839	天保10年3月14日	天保7年隠居/七代就馴・八代広鎮の当職		
	鳥羽寛直 山口正福寺義鳳女	二男	—	鳥羽 貞義	八右衛門 （萩家来井上八兵衛養子）			宗藩						[譜]
												寛政11年12月15日萩家来井上八兵衛貞□養子		
	鳥羽馴茂 粟屋毅負豊章女	長男	⑦	鳥羽 寿敏	縫殿 寿保 茂保 百合之進 （後妻望月智式女[註16]）	家老/当職	400	~9				徳山村本丁	大迫田本正寺（H30）	[譜][註1][註4][註16]
										1851	嘉永4年12月6日	天保7年家督/九代元蕃の当職		
	鳥羽馴茂 粟屋毅負豊章女	二男	—	鳥羽 某	（萩家来河野喜兵衛正方養子）			宗藩						[譜]
												天保15年6月20日萩家来河野喜兵衛正方養子		
	鳥羽寿敏	長男	⑧	鳥羽 蕃雅	嘉盛 武政 房之進 篤切 蕃切 （妻増野直賀女優馬養女）	家老	400	9					大迫田本正寺（H30）	[譜][註1][註4]
												嘉永5年2月10日家督/元治元年譜録提出		
			⑨	鳥羽 鎚之進	鎚之丞	上士	150→41.5（M4）	9					大迫田本正寺一族あり	[註4]
										（明治4年17歳 分限帳）				
鳥羽家断	鳥羽隆安	二男	①	鳥羽 経定	新左衛門 権之助	馬廻	50	3~5						[譜][註4]
										1752	宝暦2年5月2日	元禄12年7月23日出仕		
	鳥羽経定	長男	②	鳥羽 陳定	新之丞	中小姓	25	5~7	53			鐘楼町自北5番西向	江戸にて死去	[譜]
										1778	安永7年9月11日	宝暦2年8月家督		
	鳥羽陳定 医師石津周伯女	長男	③	鳥羽 陳重	為次郎 新太郎 新蔵 源兵衛	中小姓/地山頭(文化年間)	25	7~						[譜][註4]
												安永7年12月12日家督/文化5年譜録作製		
	鳥羽陳定 医師石津周伯女	二男	—	鳥羽 正勝	→山本正勝	中小姓	25	7~9	72					[譜][註4]
										1840	天保11年正月11日	天明4年山本忠左衛門正真養子		
	富田村某 某女		①	富川 重置	六左衛門 祐治	蔵本付/算用役（明和元年）	15	5~7	79					[譜][註4]
										1785	天明5年3月19日	元文4年出仕/安永7年隠居		

富川家	富川重置 藤村口郎右衛門能政女	長男	②	富川 忠良	栄蔵 権八	蔵本付	15	~9	69	1856	安政3年8月24日	安永7年家督/文化8年隠居		[譜][註4]
	富川重置 藤村一郎右衛門能政女	二男	—	富川 清樹	→山邊清樹	徒士	20	7~8	75	1831	天保2年3月9日	明和7年山邊清集養子	徳山・八正寺(R1)	[譜][註4]
	徳山町金左衛門 村田屋金左衛門女	＊四男	③	富川 重治	八郎左衛門 惣右衛門 福谷岩太 重置	蔵本付	15	~9	71	1856	安政3年3月25日	文化8年家督		[譜]
	富川重治 小林忠右衛門盛政女	長男	④	富川 昌孚	猿三 官七 栄槌 彦市 官之介	蔵本付→下士下等 藩知事時代史生	15→4.7(M4)	9		(明治4年48歳 分限帳)		元治元年譜録提出		[譜][註4]
	富川重治 小林忠右衛門盛政女	二男	—	富川 昌孝	→国広昌孝	下士下等	15→4.7(M5)	9		(明治4年45歳 分限帳)				[譜][註4]
	富川昌孚 徳山町久村卯兵衛女	長男	○	富川 義一郎	虎作			9		(明治4年12歳 分限帳)				
	富川昌孚 徳山町久村卯兵衛女	二男	—	富川 逸次郎				9		(明治4年10歳 分限帳)				
富川家			○	富川 茂一		徳山瓦斯重役(大正4年)		—						[註4防長新聞]
富重家			○	富重 源右衛門		町人		8				徳山町船町 船町人数書取(天保5年)		[註4]
富田家			○	富田 嘉助	→関久兵衛家	中小姓	30	3						[註4]
富田家			○	富田 友吉		山崎隊(報知方)		9						[註4] [山崎隊日記]
富田家			○	富田 武一		歌人/明月会会員		9						[清韻集/矢嶋作郎]
富田屋			○	富田屋 清兵衛	平野屋高橋治助内(文化10年)	町人	苗字(文化8年)	8				徳山本町 献納並び御賞美(享和、文化年間)		[註4] [御領町人御仕成]
富永家			○	富永 如水	善作 誠明 棊楽院釋瑞翁如仙居士	富永酒造祖先		宗藩		1858	安政5年10月10日	櫛ケ浜西本町 原江寺芭蕉句碑建立者の一人/「富永如水発句集」		郷土史研『櫛ケ浜俳諧史』竹島美雅
富屋			○	富屋 久五郎		酒造業 天保4文政8酒造米高記載[註1]		8				藩へ上納銀、借銀の債主として記載あり(天保末年現在)		[註1]
			○	富屋 与兵衛		町人	苗字・上下着用	8				徳山町 献納並び賞美一件(天保5年)		[註4][渡邉環家譜録]
	富屋与兵衛	嗣子	○	富屋 小右衛門	(妻渡邉操三女)	町人		8				徳山町 文政4年渡邉操三女娶		[渡邉環家譜録]
			○	富屋 岩吉		町人		9				徳山町 岩吉妹渡邉繁(安政5年久村伴蔵育/母久村屋治兵衛妹)嫁		[渡邉環家譜録]
			○	富屋 勝蔵		町人		—				徳山町 久村家墓所にあり	金剛寺(H30)	
富山家			○	冨山 房良	清右衛門							先祖備前国御野郡野殿村富山居住		
	冨山清右衛門房良 黒川五右衛門元康女		①	富山 常照	清右衛門 與三右衛門 八左衛門	用人	200	1		1664	寛文4年6月15日	勢屯東町角 寛永14年出仕/御判物あり	特定できず本正寺無縁墓(H30)	[譜]
	富山常照 村上豊後守就次女	長男	②	富山 隆明	清右衛門 兵部 作内 半左衛門	用人	200	1~3		1717	享保2年6月5日	横本町北側自東2番 元禄14年隠居/御判物あり/三代毛利元次より脇差拝領	特定できず本正寺無縁墓(H30)	[譜]
	富山清右衛門常照 萩村上豊後守就次女	二男	—	大野 直昌	→大野直昌	馬廻	100	1~3		1713	正徳3年3月23日	某年御雇、近習召仕後養子/元禄14年隠居	徳山・興元寺(R2)	[譜][註4] [徳山市社寺文化財調査(S59)]
	富山清右衛門隆明 神村将監隆忠妹	長男	③	富山 隆栄	右衛門 主馬 半右衛門 兵部	用人	200	3		1717	享保2年2月10日	元禄14年家督/宝永2年江戸番手留守居役	特定できず本正寺無縁墓(H30)	[譜][註4]
	富山清右衛門隆明 神村将監隆忠妹	二男	—	黒川 種常	→黒川種常→⑤富山豊常	馬廻	150	3~5				本町東側自北2番 元禄年中種則家督/享保7年正月17日実家富山家相続		[譜][註4]
	富山清右衛門隆明 神村将監隆忠妹	＊三男	④	富山 尭政	右衛門 勘治郎 與三右衛門	用人	200	3		1721	享保6年12月3日	享保2年家督/死後↓豊常享保7年家督/寛延元年隠居	特定できず本正寺無縁墓(H30)	[譜]
	富山清右衛門隆明 神村将監隆忠妹	＊二男	⑤	富山 豊常	久太夫 種常	用人	200	3~5	82	1752	宝暦2年8月23日	御判物あり/五代毛利広豊より紋付上下、晒布、帷子拝領	特定できず本正寺無縁墓(H30)	[譜]
	富山豊常 波多野源兵衛通信女	二男	⑥	富山 豊教	久太夫 万之丞 新五左衛門 清右衛門	用人	200	5	57	1757	宝暦7年2月29日	寛延元年家督/宝暦7年隠居/御判物あり	特定できず本正寺無縁墓(H30)	[譜]
	福間尭義 福間茂左衛門尭明女	＊三男	⑦	富山 豊實	要人 信之 彦五郎 造酒 竹翁 吉之允 嵩光院竹翁道策居士	家老/当職	300	5~8	77	1737 1813	元文2年6月11日 文化10.7.18/6.28	宝暦7年家督/寛政8年隠居/御判物あり/上下、綿入拝領	妻大迫田本正寺無縁墓(H30)	[譜][註1]
	山縣(形)某 谷左兵衛祐倫女	＊	⑧	富山 馴正	織部 慶國 衛守 勘解由 山縣善右衛門直勝弟	用人	250	7~9	76	1844	天保15年10月14日	寛政8年家督/天保7年隠居/御判物あり/上下拝領	大迫田本正寺無縁墓(H30)	[譜][註4]
	富山馴正 富山豊實女	長男	—	富山 壽英	實恒 與三右衛門 才次郎			8~9	69	1856	安政3年8月25日	御判物あり/上下拝領		[譜]
	富山馴正 富山豊實女	三男	—	富山 正周	三千春 敬房 要人 武司 飯田壽正の養子後布施田家へ			8~9				文化8飯田寿臣養子離縁/天保2亀井家来布施田敬信養子離縁		[譜]
	富山馴正 富山豊實女	四男	—	富山 惟体	金之丞 玉枝 萩家来山形与右衛門貫利養子			8~9				文政6年萩家来山形与右衛門貫利養子		[譜]
	富山馴正 富山豊實女	五男	—	富山 方義	才次 七郎			8~9				某年久離		[譜]

	富山壽英 箱嶋郡太相倭女	＊長男	⑨	富山 鎮路	作内 常正 太助	用人	250	8~9				特定できず本正寺無縁墓(H30) 天保7年家督/御判物あり		[譜]
	富山壽英 箱嶋郡太相倭女	＊二男	⑩	富山 蕃賞	源次郎 貞良 篤信 要人	家老/当職	250	9		（明治4年47歳 分限帳）		本丁 天保14年家督/御判物あり/山口の獄舎幽閉後釈放後病死		[譜][註1][註4]
	富山壽英 箱嶋郡太相倭女	三男	—	富山 貞正	→河田景春	馬廻 後中士上等(鉄蔵跡)	85後50	9	42	1870	明治3年2月18日	西ノ丁 嘉永元年河田尚文跡家督	徳山・福田寺(R3)	[譜][註1][註4]
		＊嗣子	⑪	富山 鎮亮	半左衛門 常量院静實鎮亮居士	中士上等	70→19.4(M4)	9	83	（明治4年53歳 分限帳） 1901	明治34年5月16日	本丁 妻梅子墓碑明治34年4月没/明治3年譜録提出	大成寺共同墓地(H30)	[譜][註4]
戸村家	戸村小太郎正久	嗣子	○	戸村 正弘	九郎兵衛			—						[譜]
	戸村正弘	嗣子	○	戸村 正敬	新作			—						[譜]
	戸村正敬	嗣子	○	戸村 正長	文吉	医師		—				富田村		[譜]
	戸村正長 四熊村井上某女	長男	①	戸村 久知	圓斎	陣僧/医師	11	3~7	93	1771	明和8年10月8日	富田村出生 奉公以前医師/元禄15年出仕/宝暦7年隠居		[譜][註4]
	戸村久知 四熊村三郎右衛門女	長男	—	戸村 長好	友右衛門 友雪	新知別家/徒士	20	5~7	66	1792	寛政4年9月16日		大成寺共同墓地(R2) 延享元年新知別家	[譜]
	今宿村重郎左衛門 某女	＊	②	戸村 直休	十助 清甫	徒士	20	5~8	63	1803	享和3年11月26日		宝暦7年家督	[譜]
	戸村直休 中村三蔵孝親姉	長男	③	戸村 信邑	祐雪 音治郎	陣僧	11	7~8	55	1837	天保8年7月24日		野島死亡 文化元年家督同13年隠居/天保3年咎筋有野島流罪	[譜][註4]
	戸村直休 中村三蔵孝親姉	＊二男	④	戸村 直明	清甫 勘吉 玄策	陣僧	11	8	49	1836	天保7年3月28日		文化13年家督	[譜]
	野村助右衛門直温 渡邊市郎左衛門武女	＊二男	⑤	戸村 知直	三榮 弥三吉 弥三 圓斎 久甫	陣僧	11	8~9	42	1858	安政5年12月26日		天保7年家督	[譜]
	戸村知直 若崎善右衛門宗栄女	長男	⑥	戸村 直政	久栄	陣僧	11	9					安政6年家督	[譜][註4]
	戸村直政	嫡子	⑦	戸村 里蔵		下士下等	11→4.7(M4)	9		（明治4年27歳 分限帳）			明治3年譜録提出	[譜][註4]
	戸村直政	嫡子	—	戸村 健助				9		（明治4年23歳 分限帳）				
	戸村直政	嫡子	—	戸村 好熊				9		（明治4年18歳 分限帳）				
戸村家	戸村久知 四熊村三郎右衛門女	長男	①	戸村 長好	友右衛門 友雪	徒士	20	5~7	66	1792	寛政4年9月16日		大成寺共同墓地(R2) 延享元年新知別家	[譜]
	戸村長好 万治市右衛門女	長男	②	戸村 長之	仁左衛門 弥八 直助 友右衛門 定寧	徒士	20	7~9	59	1839	天保10年正月12日		寛政4年家督	[譜][註4]
	戸村直助長之 長之後妻	三男	—	戸村 通節 ☆	→河野通節	徒士後下士上等	20→5.7(M4)	9		（明治4年39歳 分限帳）		安政6年河野通貫養子/元制産方金銭請払[明治7年毛利家文庫]		[譜][註4] (明治3年譜録提出)
	柳五郎左衛門直斯 徳山町山田加賀吉姉	＊四男	③	戸村 般曹	彦平 安直 専右衛門 喜右衛門	徒士後下士上等	20→5.7(M4)	9		（明治4年54歳 分限帳）		天保11年家督/明治3年譜録提出	大成寺共同墓地(H30)	[譜][註4]
	棟居與士太正忠 棟居高光女	＊二男	④	戸村 國蔵				9		（明治4年9歳 分限帳）				[譜]
戸村家			○	戸村 敏輔		寺小屋/藩士		9				徳山村 寺小屋読書文久3年9月～明治5年6月男61女25		[註1][註5][註14] [徳山市教育の歩み]
戸村家			○	戸村 馬太朗				9項					福田寺(R3) 野嵜弥兵エ先祖墓戸村馬太朗建立・弓屋家墓所内	[墓碑]
戸村屋			○	戸村屋 新平		町人		8				福川町 百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		[註4]
友沢家			○	友沢 多七		町人		7				徳山村船町 船町人数書取(寛政4年)		[註4]
			○	友沢 幸七		櫨畠開発 御用櫨植林下受人		8				徳山村船町 東山に約一町歩の櫨畠開発(文化8年)町人数書取(天保5年		[註1][註4]
友田家断	某女		①	友田 隆兼	助太夫 源三		200	1						
	友田隆兼 楢崎与兵衛女	二男	②	友田 某	助太夫 角弥		200	1						[註4]
	友田某	長男	断絶	友田 某			100	1						
友田家断	友田隆兼 楢崎与兵衛女	長男	断絶	友田 友信	助右衛門		12	1					某年断絶	
友田家断	友田友信 遠藤丹後女	長男	断絶	友田 種道	源蔵	中小姓	25	1				延宝7年江戸より帰国後断絶		
友田家断	友田隆兼 楢崎与兵衛女	三男	断絶	友田 種則	十之丞 安之丞 嘉休 改姓黒川→黒川種則の項	馬廻	150	1		1718	享保3年6月16日			
友森家			○	友森 良哉		町方医		9					第二次長州征伐時、野戦病院勤務	[註1]

とも屋			○	とも屋	→野村七郎左衛門	永代町年寄		5							[註1]
友屋			○	友屋 伝兵衛	鞆屋伝兵衛[註4板場運上銀]	櫨蝋板場職		9					古屋九兵衛ら8名を藩の板場職に指定(嘉永3年1850)		[註1][註4]
鞆屋			○	鞆屋 幸右衛門		酒造業(安永6年)		7					銘柄加茂川		[註4]
			○	鞆屋 伝兵衛		酒場(嘉永年間)		9					酢、酒場運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		[註4]
			○	鞆屋 吉郎右衛門		酒場(嘉永年間)		9					酒場運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		[註4]
友安家断			断絶	友安 勘兵衛		徒士	20	3							[註4]
友安家	友安喜文	二男	①	友安 治延	吉之進	陸軍中将/旅順奉天参戦 山崎隊四境戦争戊辰戦争従軍	4.7(明治4年) 従四位勲二等	9	69	1845 1913	弘化2年5月15日 大正2年6月24日	富海村 [山崎隊日記](明治5年28歳 分限帳)			[註4][註10]
	友安治延 薩摩藩柴直言長女	長男	②	友安 義高				—		1896	明治29年11月				[註10]
豊村家断			断絶	豊村 佐助		中小姓	25	3							[註4]
鳥野家	野上治部少輔興則 鳥野入道永弥斎女	嗣子	○	野上 興祐	野上伊賀守 右馬介		従五位下	—							[譜]
	野上伊賀守興祐 鳥野氏	嗣子	○	野上 盛春	野上内膳正 藤太郎		従五位下	—							[譜]
	野上内膳正盛春	嗣子	○	鳥野 是義	野上和泉守多々良隆実 仁左衛門尉 釈了西信士 妻釋妙了信女			元就				1540天文9年大内家防州退去時従曽祖母姓改 曾祖母は豊後大友家鳥野入道永弥斉女			[譜] [朝倉家文書]
	兒玉東市助	＊二男	○	鳥野 義勝	仁左衛門尉 市若 釈良(了)斉居士 妻井上豊後守就正女			秀就		1663	寛文3年11月9日	芸州寛文元年萩へ 妻延宝3年5月12日卒	萩妙圓寺葬		[譜] [朝倉家文書]
	桜井助右衛門尉光雄 渡邊四郎右衛門女	＊二男	①	鳥野 是定	市若 甚兵衛 安左衛門 一安利将信士/尾和市左衛門幸政女	作事方/表具師 (延宝年中出仕)	13二扶持	1~3	80	1633 1712	寛永10年 正徳2年5月晦日	外横町北側自西3番 阿武郡紫福村出生/後妻内藤亦右衛門久明女正徳6年5月18日卒	徳山・徳応寺(朝倉家譜)		[譜] [朝倉家文書]
	鳥野是定 萩内藤又右衛門久明女	長男	—	鳥野 安左衛門	→朝倉繁経	細工人/絵師 貞享2年出仕/享保16年隠居	15二扶持	2~5	74	1668 1741	寛文8年 寛保元年5月29日(墓	馬場外町東側自北1番 享保5年改姓/雲谷等如に師事/領内大絵図作成/妻享保20.8.20卒	興元寺→泉原共同墓地(R4)		[譜][註4] [朝倉家文書]
	鳥野是定 萩内藤又右衛門久明女	二男	—	鳥野 盛英	七兵衛 児藤 →児玉市六 丹倫斎 妻大成寺行者谷口宗佐妹	蔵本付 絵師広島/二代目安藤市左衛門	徳山15→20 広島75石	3~5	67	1740	元文5年6月2日	宝永2年12月5日別家/享保14年断絶/芸州へ	備後にて卒		[譜][註4] [朝倉家文書]
	鳥野是定 萩内藤又右衛門久明女	三男	②	鳥野 英勝	安兵衛 左源太	作事方/表具師	13二扶持	3~5	62	1752	宝暦2年正月18日	正徳2年家督	一族大成寺共同墓地		[譜][註4]
	鳥野英勝 河村平左衛門幸行女	長男	—	鳥野 勝貞	伴五郎			5							[譜]
	鳥野英勝 河村平左衛門幸行女	二男	③	鳥野 勝這	安左衛門 左源太 釈常山道林信士	作事方/表具師	13二扶持	5~7	60	1786	天明6年7月6日	宝暦2年家督	一族大成寺共同墓地		[譜][註4]
	鳥野勝這 四熊村岩崎茂左衛門女	長男	—	鳥野 勝世	正八 代助			7				明和3年召仕/天明元年病気ニ付被差免			[譜]
	徳山村忠左衛門 某女	＊二男	④	鳥野 勝奥	甚兵衛 良助 甚吉	作事方/表具師	13二扶持	7~8	80	1835	天保6年正月18日	天明2年養子同6年家督/文政3年隠居/朝倉南陵甥阿武敬美養育	一族大成寺共同墓地		[譜][註4]
	鳥野勝奥 鳥野勝這女	長男	⑤	鳥野 勝之	又助 安右衛門 平次郎	作事方/表具師	13二扶持	8~9				文化元年御雇/文政3年家督/天保6年隠居	一族大成寺共同墓地		[譜][註4]
	鳥野勝之 吉屋町大工藤尾利八妹	長男	—	鳥野 勝敏				8		1831	天保2年5月6日				
	鳥野勝之 吉屋町大工藤尾利八妹	二男	⑥	鳥野 勝信	十内 近助	作事方/表具師	13二扶持	8~9		1868	明治元年9月4日	天保3年絵図方手伝御雇/天保6年家督	大成寺共同墓地(R2)		[譜][註4]
	阿武良策章鄰 末武村内富孫四郎朝定女	＊長男	養育	鳥野 徴	→阿武敬美	一代蔵本付/絵師	三扶持	8	34	1795 1828	寛政7年6月22日 文政11年4月16日	阿武良策倅文化9年養育願同年絵図方手伝御雇	泉原共同墓地(R4)		[譜] [朝倉家文書]
			⑦	鳥野 真之丞		営作舎支配準士 養種製造業者(明治23年)	13二扶持→4.7	8~9		1833	天保4年3月20日	徳山第787番屋敷 明治3年譜録提出	一族大成寺共同墓地		[譜][註1][註4]
	朝倉瑚内 朝倉ヒナ	＊二男	—	鳥野 秀蔵	妻鳥野ミツ	京都医学校/奈古屋医学校		—		1881	明治14年3月22日	朝倉徳山第667番屋敷 明治33年12月結婚養子縁組			[朝倉家文書]
			⑧	鳥野 忠三郎				—				鳥野家之墓昭和14年8月12日建立	一族大成寺共同墓地		[註1P602史料提供]

徳山藩家臣&徳山藩を支えた人たちとその一族

各家はアイウエオ順。
徳山藩家臣以外にも徳山藩に関わりがある人々、また、その子孫等姻族を記載している。
「続柄」は「嫡子」「嫡男」は実子。「嗣子」は家督を継いだ者であるが、実父母、養子、続柄等が不明な場合に記した。養子の場合、続柄に＊と記入し、実父母を記入した。
「嫡子」「嫡男」は実子の意味であるが、『士族人員録(人員録)』、『旧士族分限帳(分限帳)』による場合はこれに限らない。
『士族人員録』、『旧士族分限帳』による続柄は、実子、養子、嫡子省略(例・長男が早逝すれば二男を長男にする)等、必ずしも正確ではない。
『士族人員録』、『旧士族分限帳』、『徳山医師会史』による家督順は、出自が不明の為、便宜上①、②…と記している。
「退身」「中継」「断絶」「永暇」は中には同意味の場合もあるが原則、各家譜録の記載に従った。
「順」の項の○数字は徳山藩士として家督を継いだ順(藩に提出)で、必ずしも一族の家督順ではない。

「姓名」の名前の後の☆印は慶応元年～4年『徳山藩有志血盟書』に血判した藩士である。総勢230名（変名、養子等により重複あり）。
「字・幼名・号他」の項の→は養子で別の項に説明がある場合に記した。逆の場合は→は記してない。その場合は実父から旧名で検索してほしいが、藩士以外は不明の場合が多い。
「字・幼名・号他」の項の→は養子以外に変名、改名等でも別の項に記した。
「断絶」とは様々な理由で藩士ではなくなったことをさし、必ずしも一族が途絶えたことではない。また「再興」は主に藩士に再度召し抱えられたことである。
「給禄」の洋数字は石数、漢数字はその他の禄である。また、位階等叙勲も記している場合がある。
「藩主」の数字は仕えた藩主の歴代数である。但し、生没年により境目は不明瞭な部分がある。
「享年」年令は主に毛利家譜録記載に拠る為、数え年にて記載した。
「生、没年月日」確認の為、年令から逆算して記した場合がある。西暦は単純に和暦に合わせている。（旧暦はずれがあり西暦が違う場合がある）和暦は原則、改元の月日を基準にしている。
「生、没年月日」の項に、分限帳等で年齢が記してある場合（）で当時の年令を記した。
「墓地」の項の（）は墓碑の最新確認年度である。
各家譜録の記載に明らかな間違いや、当時の提出者により差異があった場合、当方の判断により訂正した。
□は不明文字。
記入事項が多い場合は、必ずしも決められた項目に記していない。
一部御存命の方を記載しているが、承諾を得たものである。

出典　［譜］『徳山毛利家譜録』を基本に下記資料から追補
［註1］『徳山市史 上』 徳山市史編纂委員会　昭和59年1月31日発行
［註2］『徳山市史 下』 徳山市史編纂委員会　昭和60年3月30日発行
［註3］『徳山市史史料 上』 徳山市史編纂委員会　昭和39年11月30日発行
［註4］『徳山市史史料 中』 徳山市史編纂委員会　昭和41年3月3日発行
［註5］『徳山市史史料 下』 徳山市史編纂委員会　昭和43年3月20日発行
［註6］『下松市史 通史編』 下松市史編纂委員会　平成元年11月3日発行
［註7］『新南陽市史』 新南陽市史編纂委員会　昭和60年11月1日発行
［註8］『徳山名士墳墓掃苔録』 兼崎茂樹著　大正8年6月発行
［註9］『徳山の文化に貢献せし人々』 梅原芳堂著　昭和40年3月1日発行
［註10］『防長人物百年史』 末弘錦江　昭和42年1月1日再版発行
［註11］『増補 近世防長人名辞典』 吉田祥朔　昭和51年6月1日発行
［註12］『近代防長人物史 天地人』 井関九郎著　大正6年12月25日発行
［註13］『徳山医師会史』
［註14］『徳山市史年表』 徳山市史編纂委員会　昭和44年12月25日発行
［註15］『増補 防長人物誌』 近藤清石　昭和59年6月25日発行
［註16］『橙堂遺稿補遺』 兼崎茂樹著　大正6年8月15日発行
『都濃郡誌 全』 山口県都濃郡役所　大正13年5月25日発行
上士其他人員録　明治3年
士族人員録　中士第一～第四　明治3年
士族人員録　下士第一～第三　及び在職中　明治3年
準士人員録　附上士家来　明治3年
士族人員録　御船手組　明治3年
士族人員録　河合組上等及び下等　明治3年
士族人員録　岩崎幾太郎組上等及び下等　明治3年
士族人員録　卒族外、御手廻組、御厩組及び、政務局支配　明治3年
旧徳山士族分限帳　明治4年、5年
各家家譜及び徳山毛利家各種文書（山口県文書館蔵）
その他、参考した文献は『 』［ ］＊で記した。